

2-3 要支援・要介護認定者調査

(1) ご本人について

①調査票の記入者

<図表126> 調査票の記入者

調査数	調査票の記入者			
	本人	家族	その他	無回答
821	430	250	14	127

②現在の状況（本人の不在の事情）

<図表127> 現在の状況（本人の不在の事情）

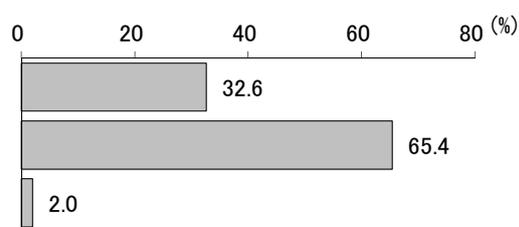
調査数	現在の状況（本人の不在の事情）					左記に該当しない
	医療機関 に入院中	福祉施設 に入所中	転居	死亡	その他	
821	20	14	-	1	44	742

以下、742人に対する集計結果を示す。

③性別

<図表128> 性別

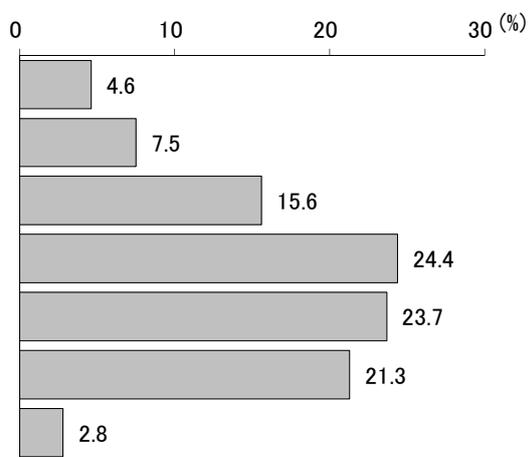
	基数	構成比
男性	242	32.6%
女性	485	65.4%
無回答	15	2.0%



④年齢

<図表129> 年齢

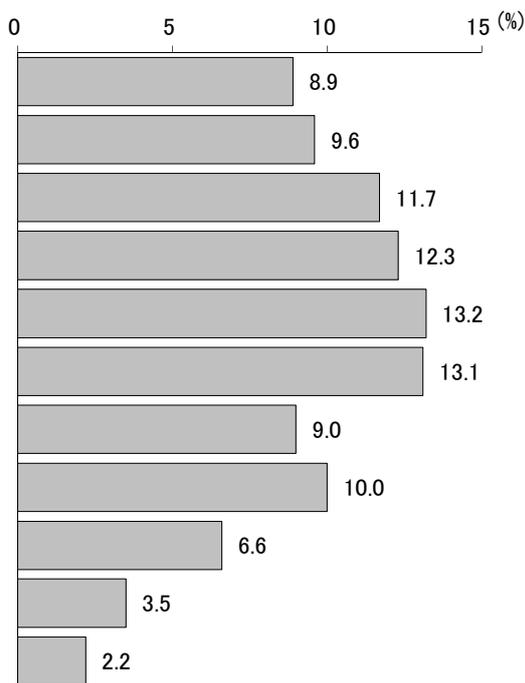
	基数	構成比
65歳～69歳	34	4.6%
70歳～74歳	56	7.5%
75歳～79歳	116	15.6%
80歳～84歳	181	24.4%
85歳～89歳	176	23.7%
90歳以上	158	21.3%
無回答	21	2.8%



⑤お住まいの地区

<図表130> お住まいの地区

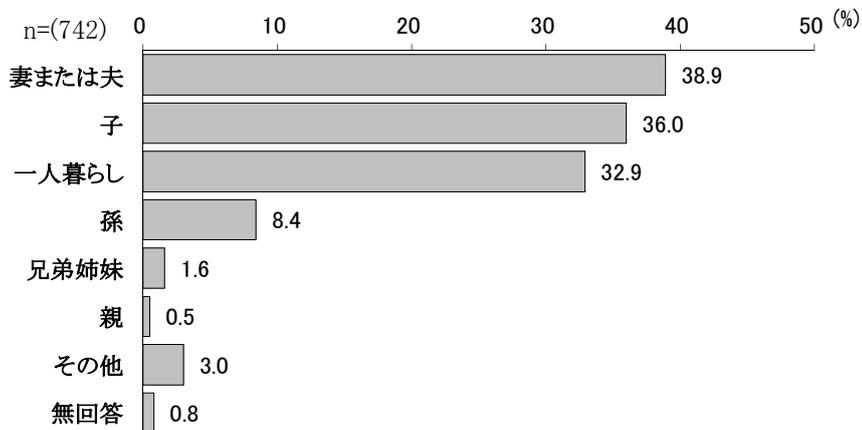
	基数	構成比
四谷	66	8.9%
簗笥町	71	9.6%
榎町	87	11.7%
若松町	91	12.3%
大久保	98	13.2%
戸塚	97	13.1%
落合第一	67	9.0%
落合第二	74	10.0%
柏木	49	6.6%
角筈	26	3.5%
無回答	16	2.2%



⑥同居者

問4 現在、あなたはどなたかと同居していますか。同居している場合は、あなたからみた続柄で、同居している方すべてに○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

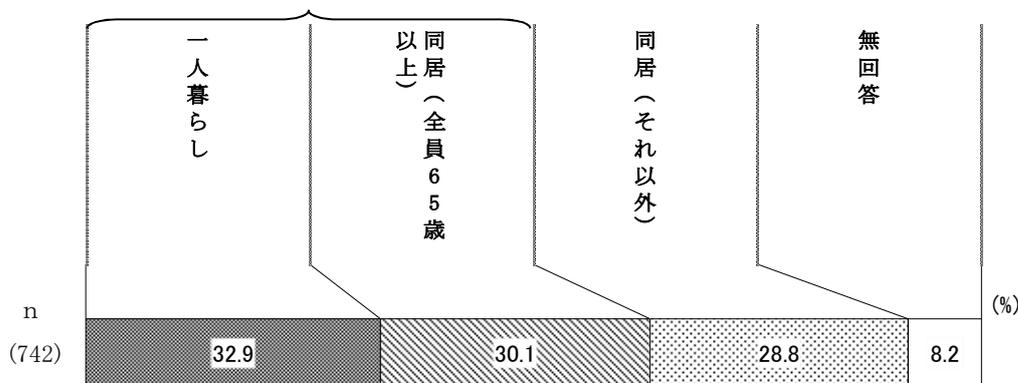
<図表131> 同居者



同居の状態をたずねたところ、「一人暮らし」(32.9%)が3割強となっている。同居者は、「妻または夫」(38.9%)が4割近く、「子」(36.0%)が3割台半ばを超えている。

<図表132> 世帯構成

《高齢者のみ世帯》63.0%

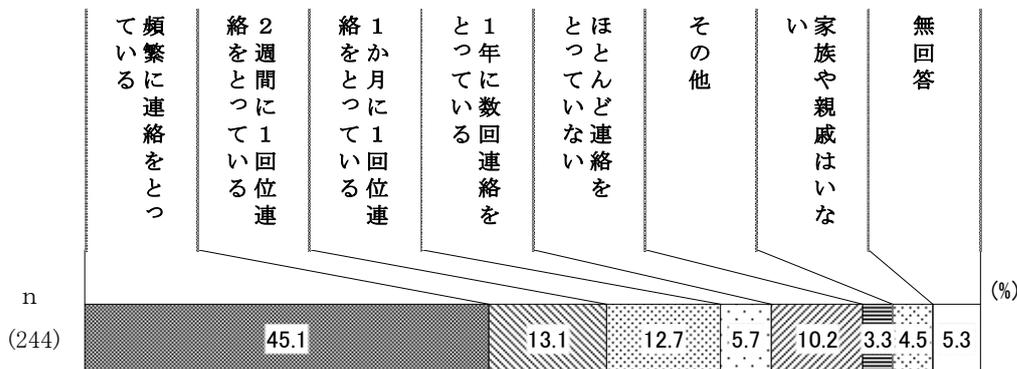


世帯構成をたずねたところ、「一人暮らし」(32.9%)と「同居(全員65歳以上)」(30.1%)をあわせた《高齢者のみ世帯》は63.0%となっている。

⑦家族や親戚との連絡

問4-1 《問4で「一人暮らし」を選んだ方のみお答えください》
 あなたは、ご家族やご親戚と連絡をどのくらいとっていますか。(1つに○)

<図表133> 家族や親戚との連絡

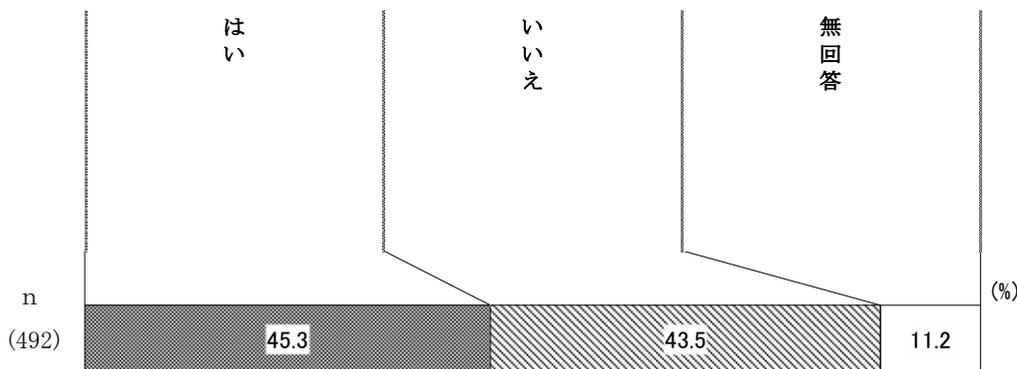


問4で「一人暮らし」と回答した人に家族や親戚と連絡をとっている頻度をたずねたところ、「頻繁に連絡をとっている」(45.1%)が4割台半ばで最も高くなっている。

⑧同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

問4-2 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
 同居の方は、全員65歳以上ですか。(1つに○)

<図表134> 同居者の年齢(全員65歳以上か否か)

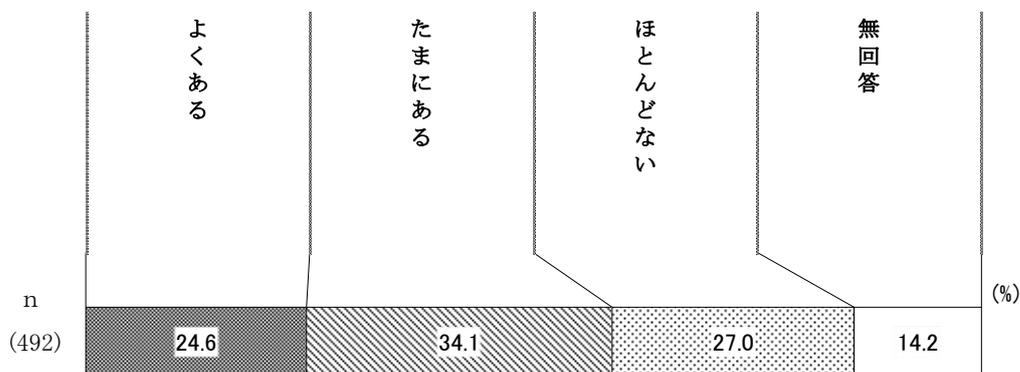


問4で《同居者がいる》と回答した人に同居者が全員65歳以上かたずねたところ、「はい」(45.3%)は4割台半ば、「いいえ」(43.5%)は4割台半ば近くとなっている。

⑨日中の独居状況

問4-3 《問4でどなたかと同居している方のみお答えください》
 日中、一人になることはありますか。(1つに○)

<図表135> 日中の独居状況

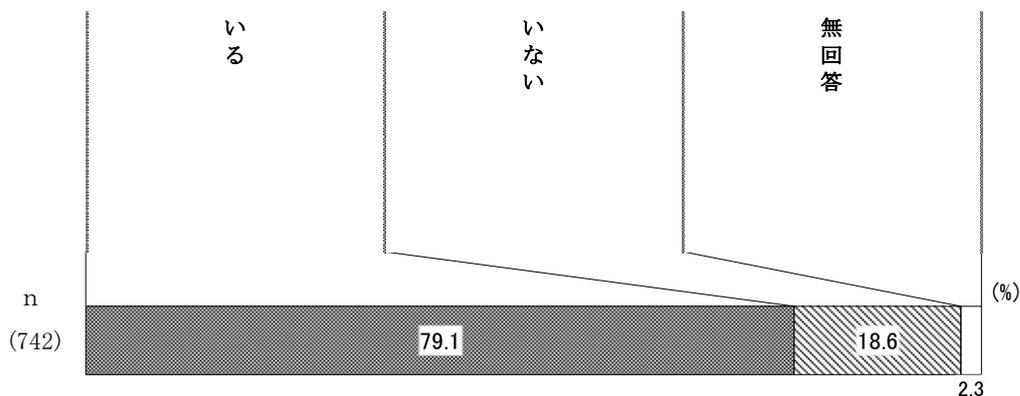


問4で《同居者がいる》と回答した人に日中一人になることがあるかたずねたところ、「たまにある」(34.1%)が3割台半ば近くで最も高く、次いで、「ほとんどない」(27.0%)、「よくある」(24.6%)の順となっている。

⑩同居者以外に手助けを頼める人の有無

問5 あなたが日常生活で困ったことがあった時、同居者以外に誰か手助けを頼める人がいますか。(1つに○)

<図表136> 同居者以外に手助けを頼める人の有無

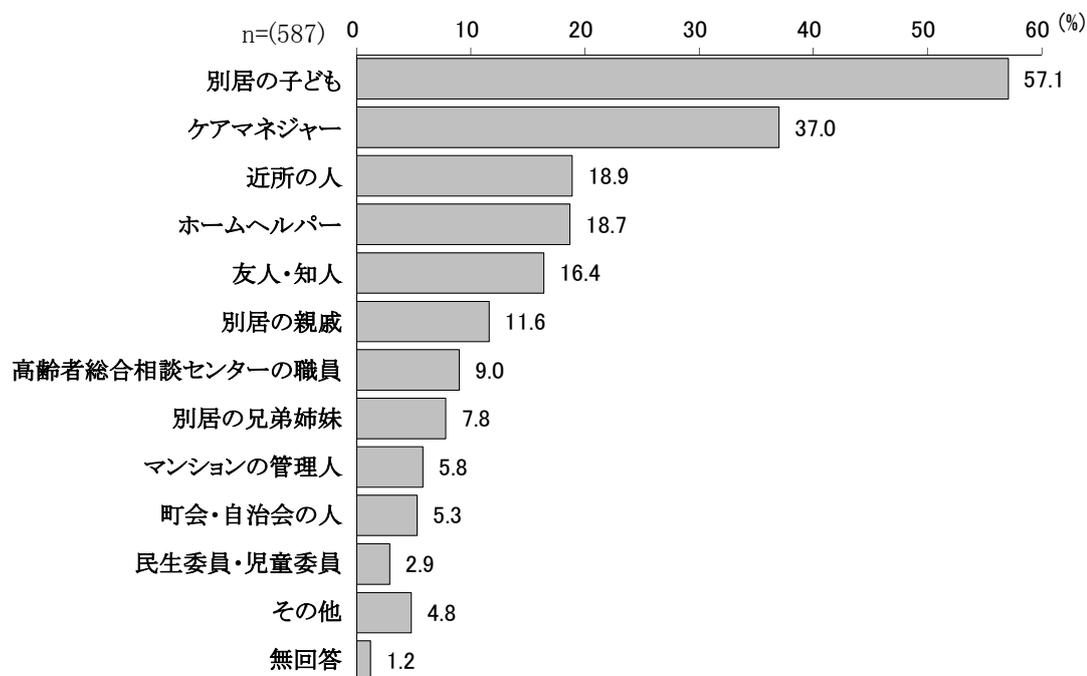


同居者以外に日常生活で困った時に手助けを頼める人の有無をたずねたところ、「いる」(79.1%)は8割弱となっている。

⑪手助けを頼める人

問5-1 《問5で「いる」を選んだ方のみお答えください》
手助けを頼める人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表137> 手助けを頼める人（複数回答）

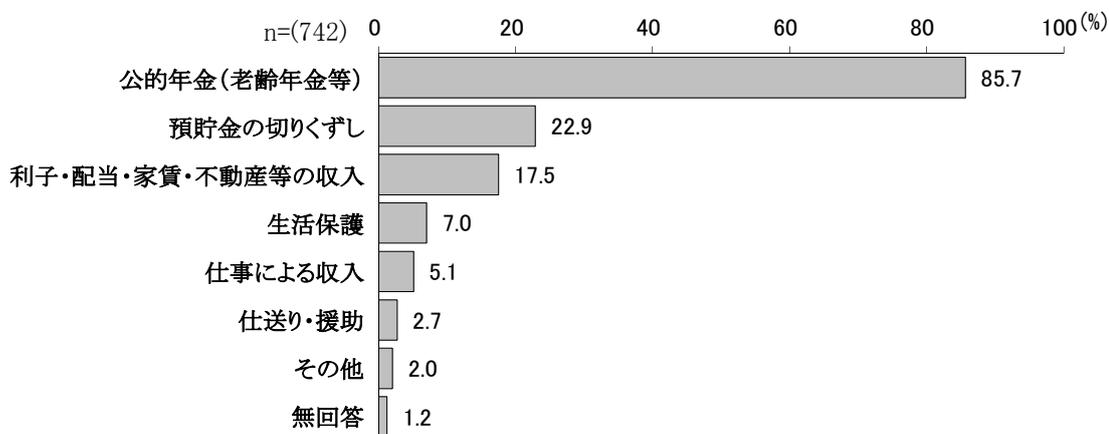


問5で同居者以外に手助けを頼める人が「いる」と回答した人に、その相手をたずねたところ、「別居の子ども」(57.1%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで、「ケアマネジャー」(37.0%)、「近所の人」(18.9%)及び「ホームヘルパー」(18.7%)の順となっている。

⑫自身の収入源

問6 あなたご本人の収入は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表138> 自身の収入源 (複数回答)

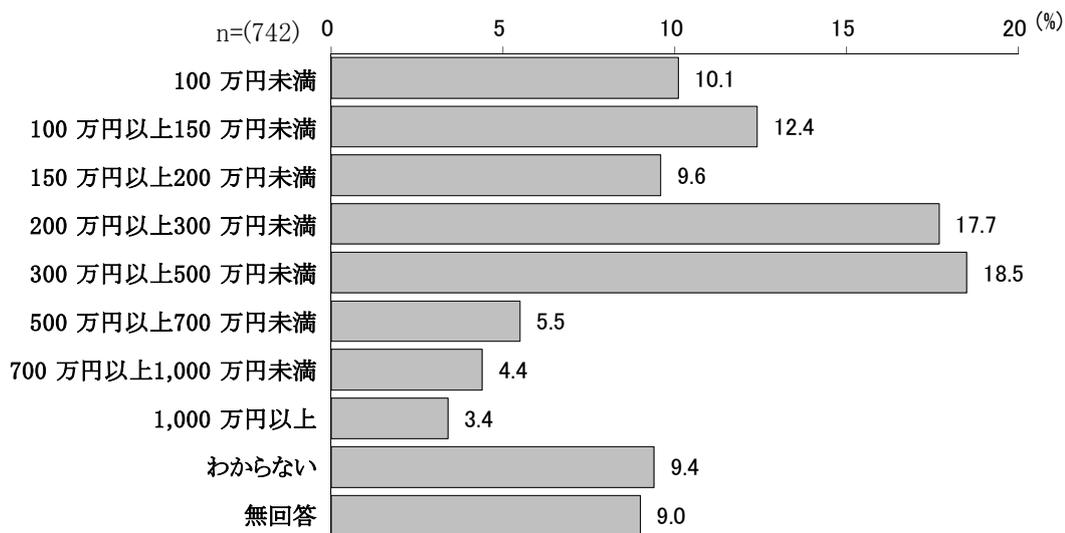


自身の収入についてたずねたところ、「公的年金(老齢年金等)」(85.7%)が8割台半ばと最も高く、次いで、「預貯金の切りくずし」(22.9%)、「利子・配当・家賃・不動産等の収入」(17.5%)の順となっている。

⑬昨年1年間の自身と家族の年間収入総額

問7 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入(税込)総額はどれくらいですか。

<図表139> 昨年1年間の自身と家族の年間収入総額

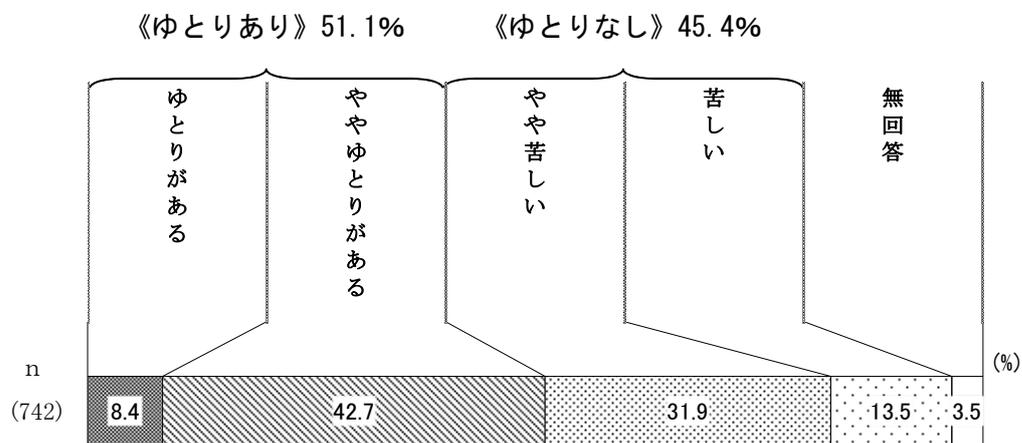


昨年1年間の自身と家族の年間収入総額についてたずねたところ、「300万円以上500万円未満」(18.5%)が2割近くと最も高く、次いで、「200万円以上300万円未満」(17.7%)、「100万円以上150万円未満」(12.4%)の順となっている。

⑭現在の暮らし向き

問8 あなたは、現在のご自身の暮らし向きをどのように感じていますか。(1つに○)

<図表140> 現在の暮らし向き



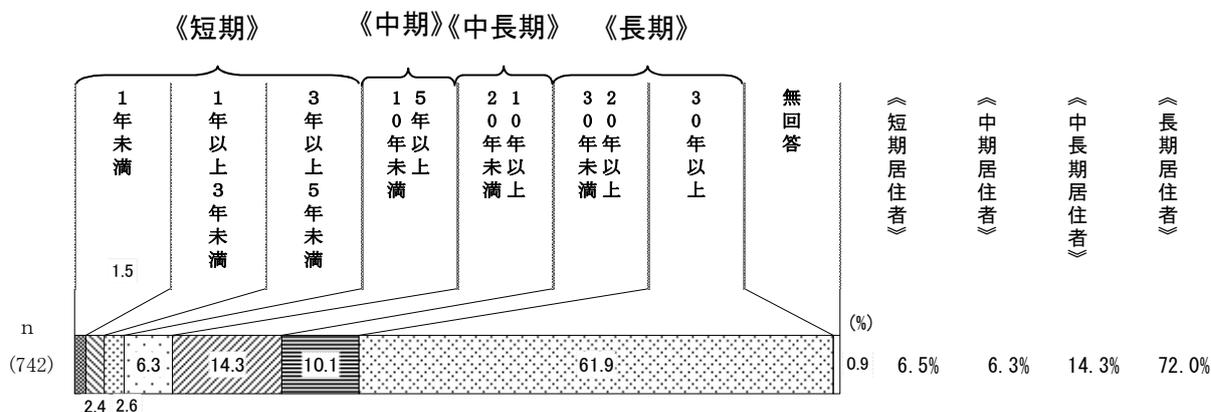
現在の暮らし向きについてたずねたところ、「ゆとりがある」(8.4%)と「ややゆとりがある」(42.7%)をあわせた《ゆとりあり》は51.1%となっている。

(2) お住まいについて

① 居住年数

問9 あなたは、現在のお住まいに何年住んでいますか。(1つに○)

<図表141> 居住年数

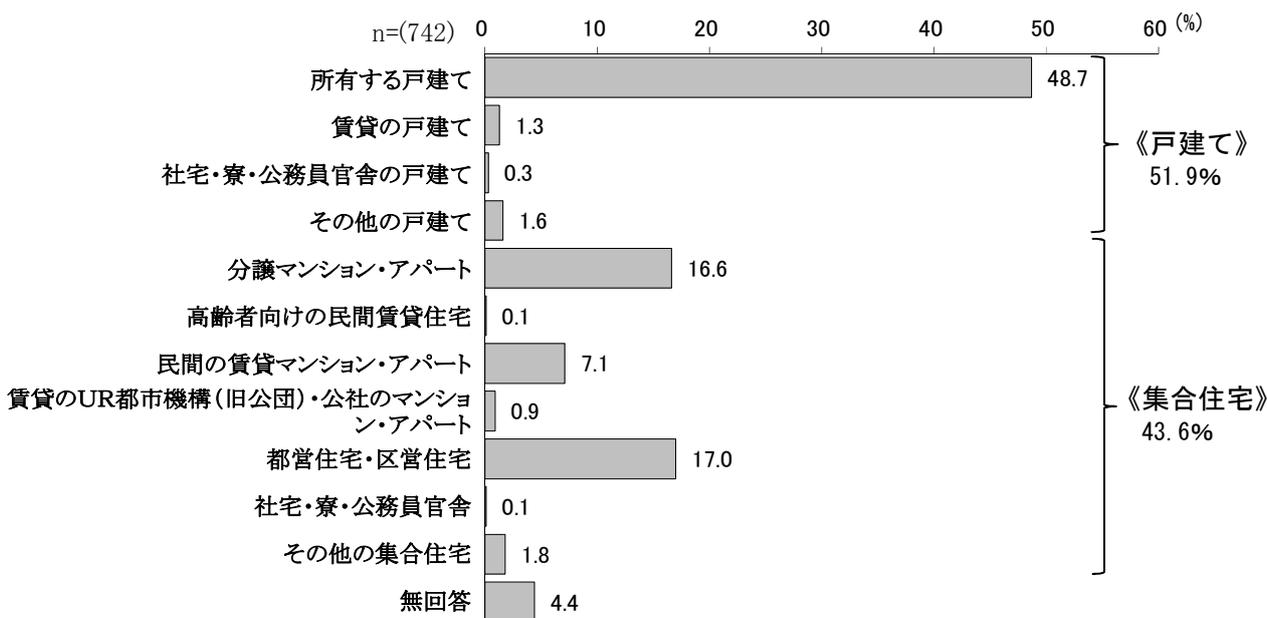


居住年数についてたずねたところ、「20年以上30年未満」(10.1%)と「30年以上」(61.9%)をあわせた《長期居住者》は72.0%となっている。

② 住まいの形態と主に生活している階数

問10 現在のお住まいは、次のうちどれですか。戸建ての場合は建物の階数、集合住宅の場合は住んでいる階数をそれぞれご記入ください。(1つに○)

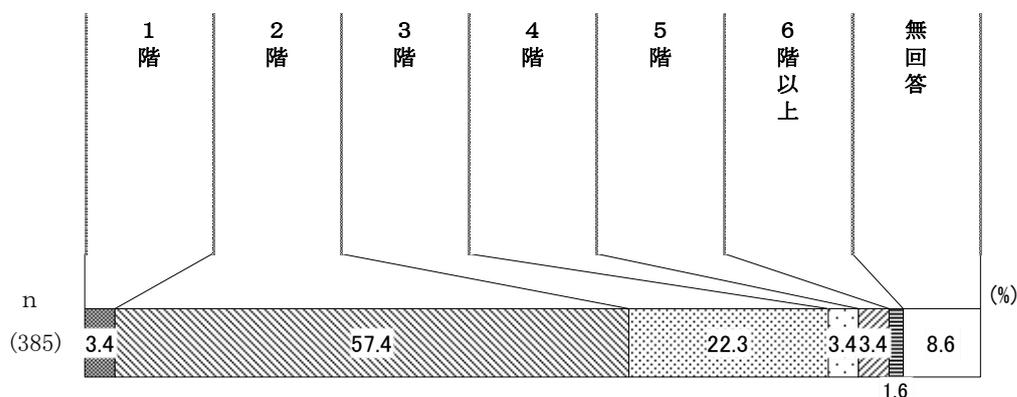
<図表142> 住まいの形態



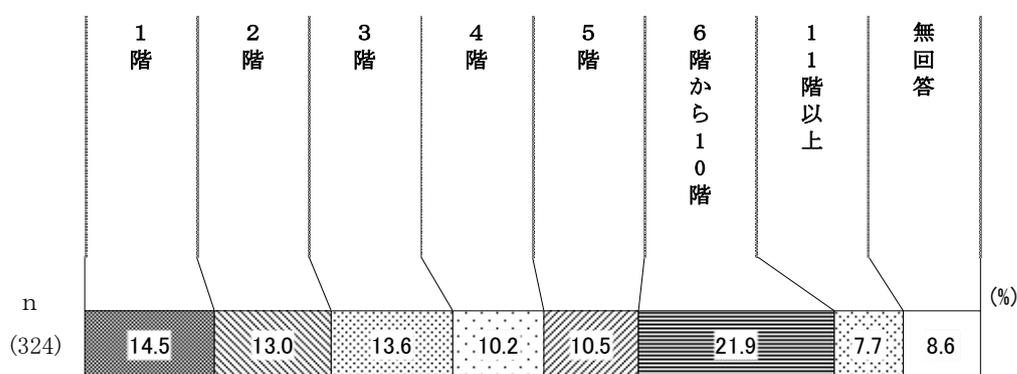
住まいの形態についてたずねたところ、「所有する戸建て」(48.7%)が5割近くと最も高く、次いで、「都営住宅・区営住宅」(17.0%)の順となっている。《戸建て》(51.9%)は5割強となっており、《集合住宅》(43.6%)より8.3ポイント高くなっている。

<図表143> 階数

○戸建ての場合の主に生活している階数



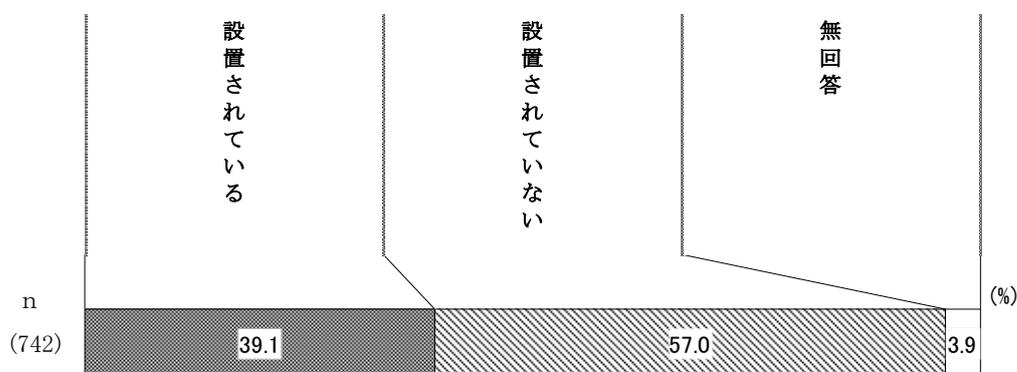
○集合住宅の場合の主に生活している階数



③住まいのエレベーターの設置状況

問11 現在のお住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)

<図表144> 住まいのエレベーターの設置状況

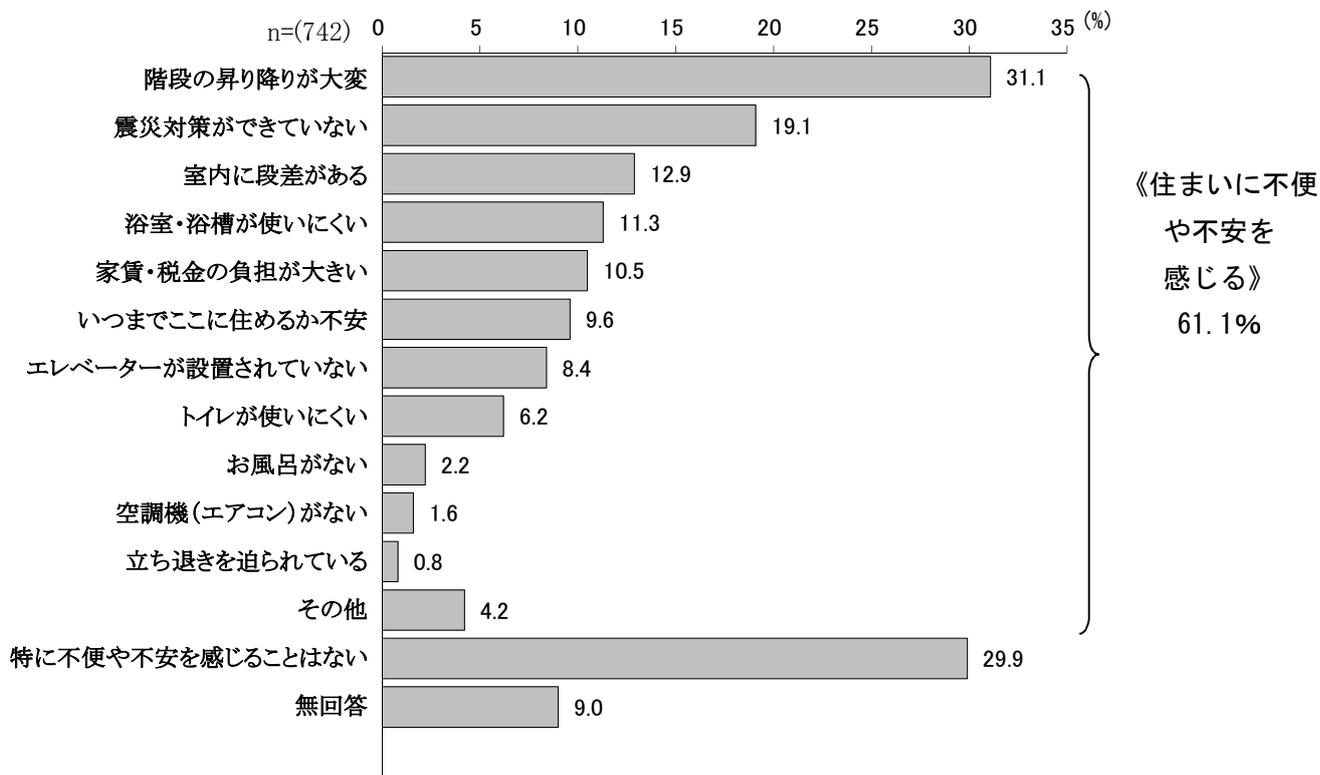


現在の住まいのエレベーターの設置状況をたずねたところ、「設置されている」(39.1%)が4割弱となっている。

④現在の住まいにおける不便・不安

問12 あなたが、現在のお住まいで、不便や不安を感じていることは、次のうちどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表145> 現在の住まいにおける不便・不安 (複数回答)

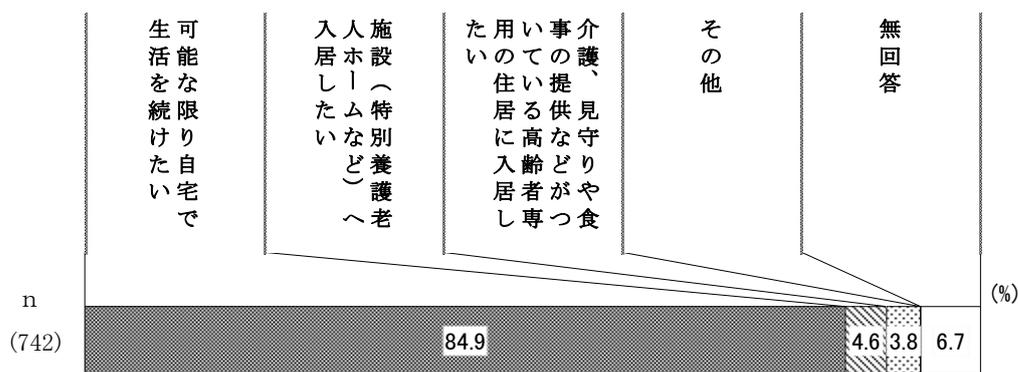


現在の住まいで、不便や不安を感じていることをたずねたところ、《住まいに不便や不安を感じる》(61.1%)が6割強となっている。不便や不安を感じる内容としては、「階段の昇り降りが大変」(31.1%)が3割強で最も高く、次いで、「震災対策ができていない」(19.1%)、「室内に段差がある」(12.9%)の順となっている。

⑤現在の住まいに引き続きること

問13 あなたは、これからも今のお住まい（自宅等）で生活を続けたいと思いますか。
（1つに○）

<図表146> 現在の住まいに引き続きること

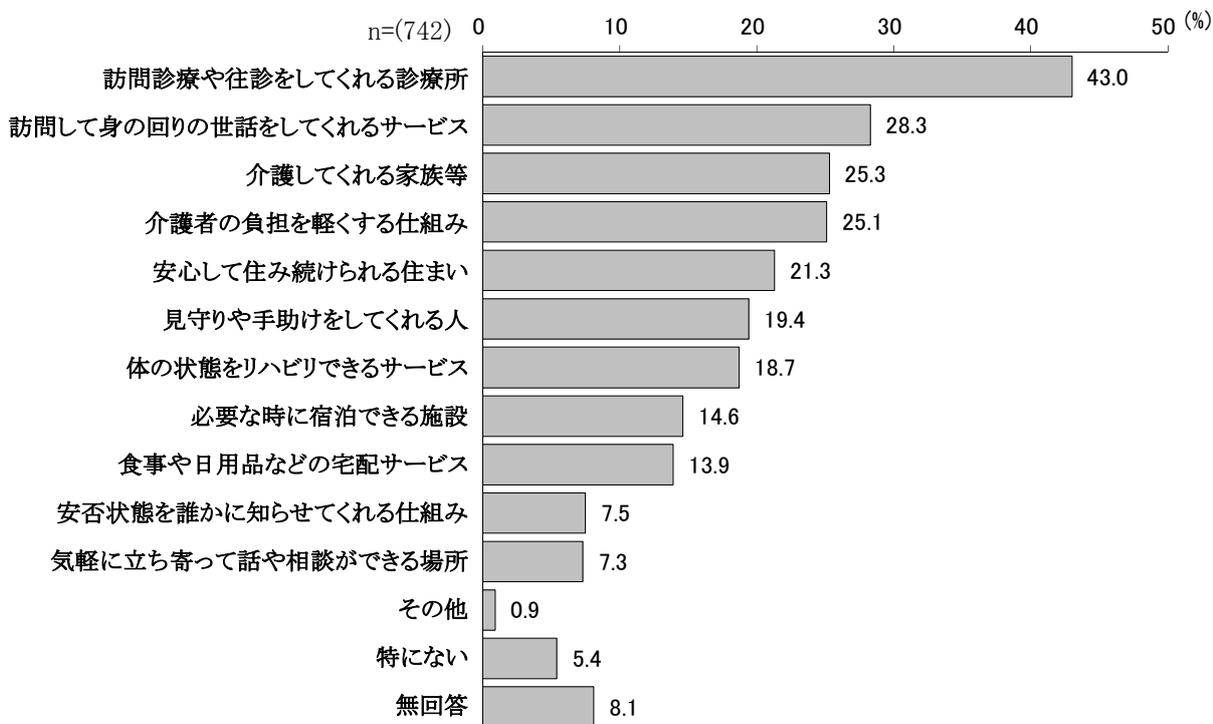


現在の住まいに引き続きることについてたずねたところ、「可能な限り自宅で生活を続けたい」(84.9%) は8割台半ば近くで最も高くなっている。

⑥在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの

問14 今後も在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは、次のうちどれですか。(あてはまるもの3つに○)

<図表147> 在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うもの (複数回答)



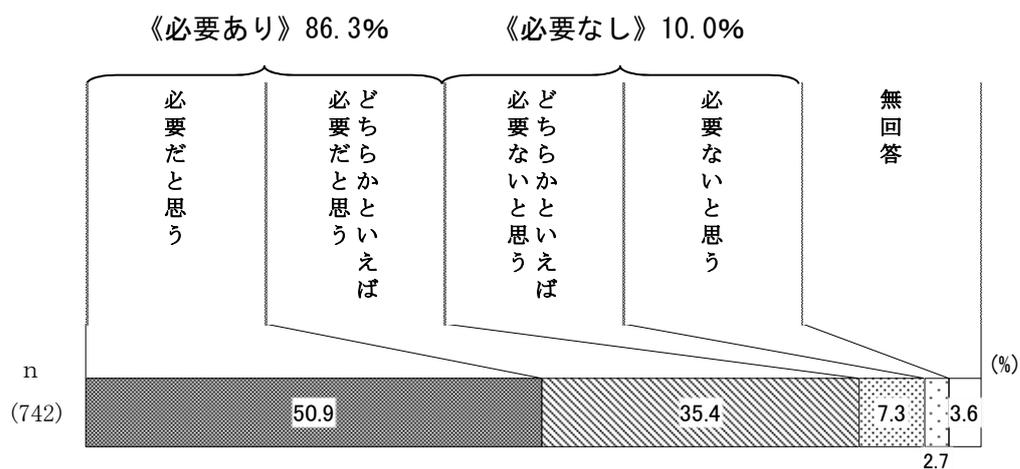
在宅で暮らし続けるために特に重要だと思うものをたずねたところ、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」(43.0%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス」(28.3%)、「介護してくれる家族等」(25.3%)、「介護者の負担を軽くする仕組み」(25.1%)の順となっている。

(3) 日ごろの生活について

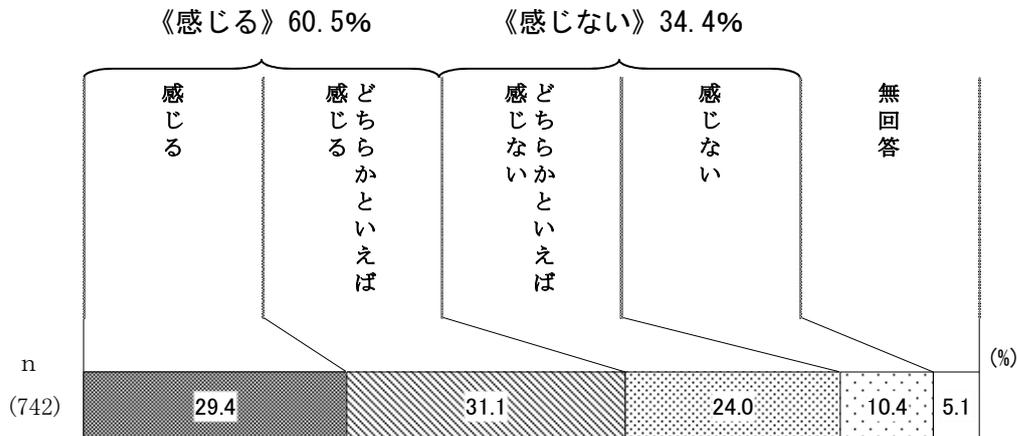
①地域のつながりの必要性と実感

問15 あなたの日々の暮らしの中で、地域のつながり（住民同士の助け合い・支え合いなど）についておたずねします。（どれか1つに○）

<図表148> 地域のつながりの必要性



<図表149> 地域のつながりの実感



地域のつながりの必要性についてたずねたところ、「必要だと思う」（50.9%）と「どちらかといえ
ば必要だと思う」（35.4%）をあわせた《必要あり》は86.3%となっている。

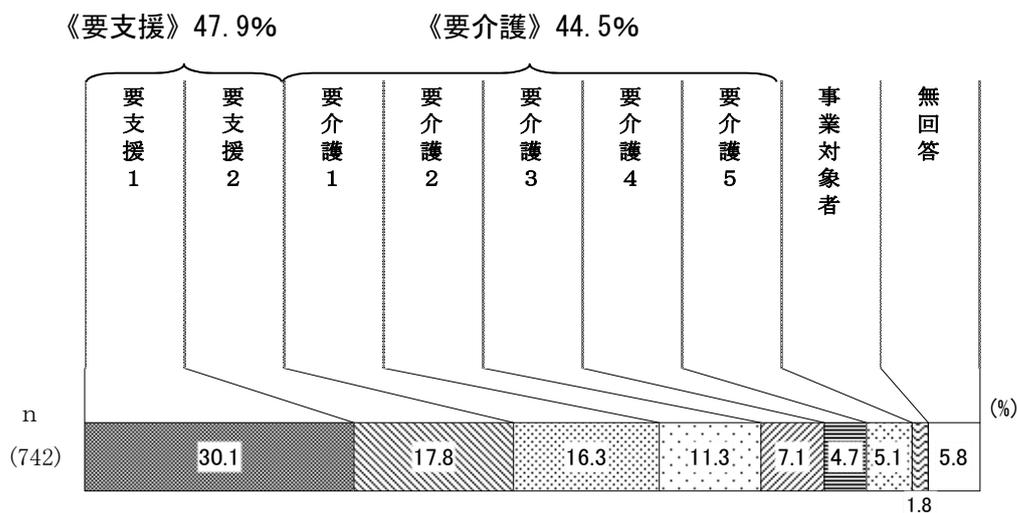
地域のつながりの実感についてたずねたところ、「感じる」（29.4%）と「どちらかといえ
ば感じる」（31.1%）をあわせた《感じる》は60.5%となっている。

(4) 要介護認定について

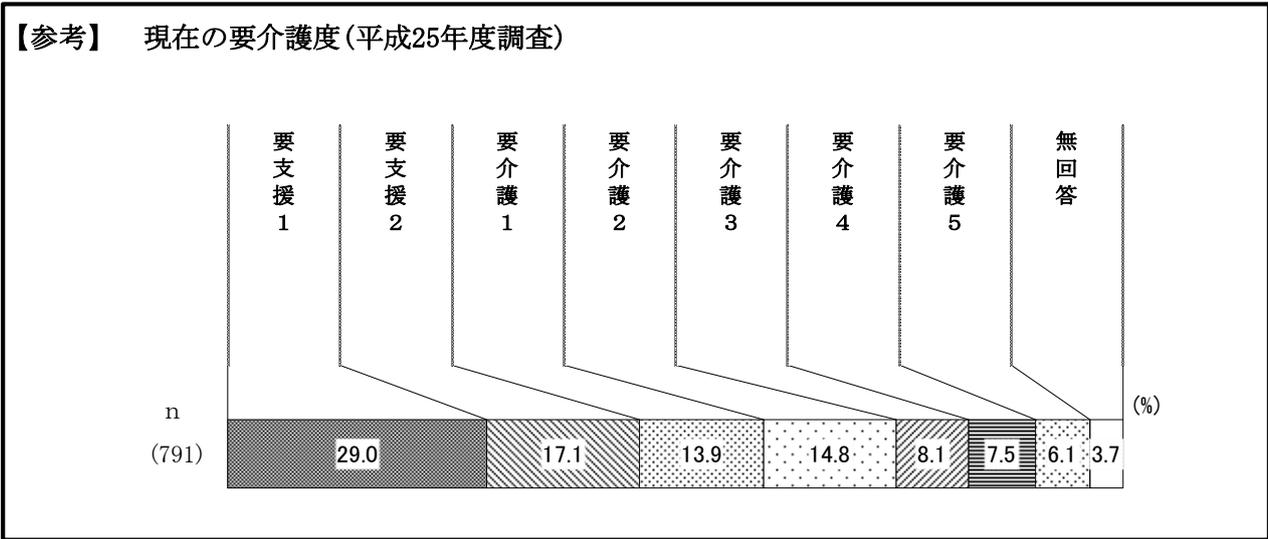
①現在の要介護度

問16 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。おわかりにならない場合は、ご家族やケアマネジャーにおたずねになり、必ず記入してください。(1つに○)

<図表150> 現在の要介護度



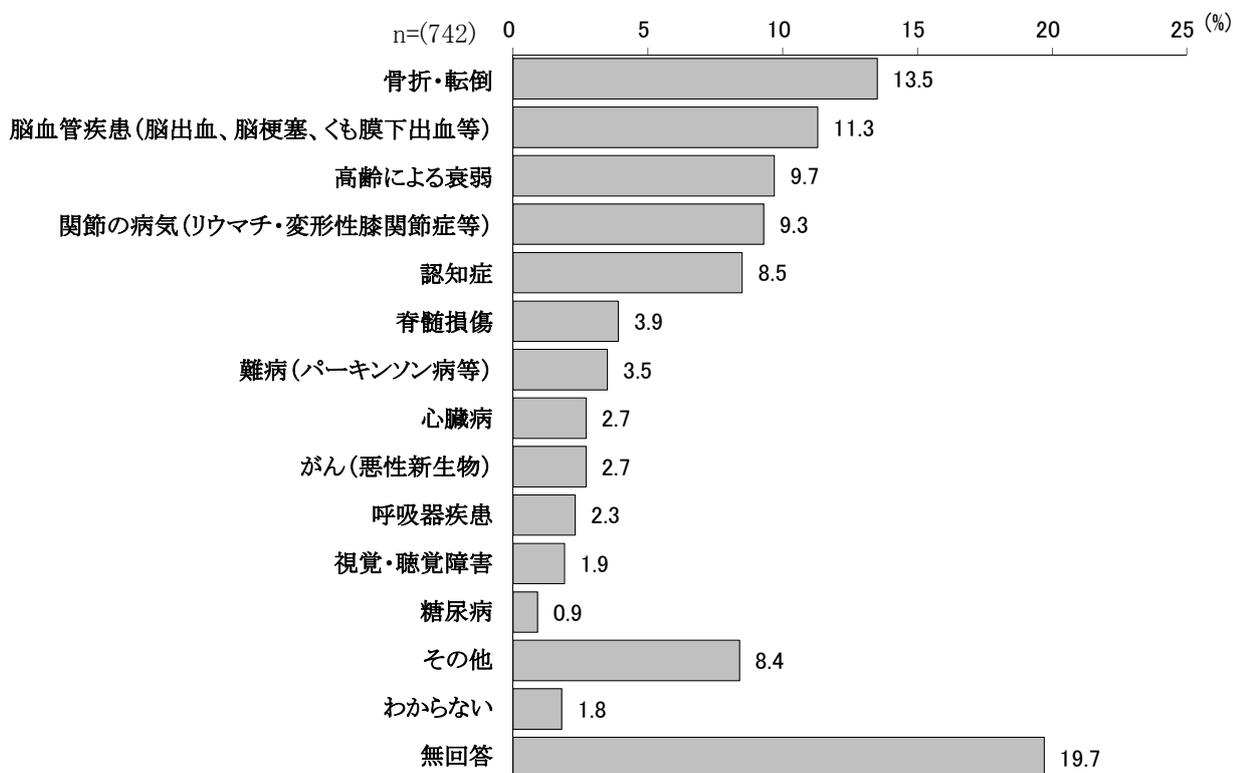
要介護度をたずねたところ、「要支援1」(30.1%)と「要支援2」(17.8%)をあわせた《要支援》は47.9%となっている。



②介護が必要となった主な原因

問17 あなたが、介護を必要とするようになった主な原因は、次のうちどれですか。
(1つに○)

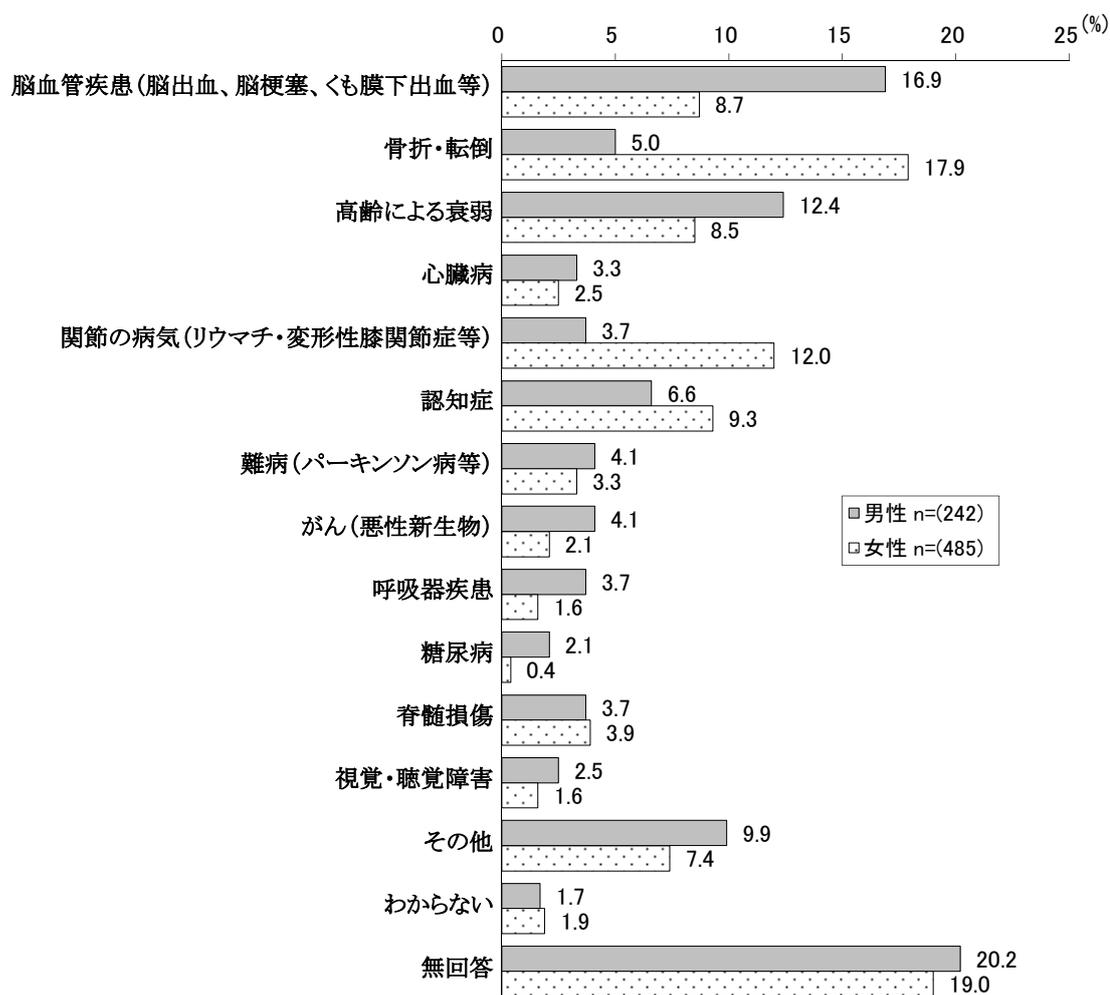
<図表151> 介護が必要となった主な原因



介護が必要となった主な原因をたずねたところ、「骨折・転倒」(13.5%)が1割台半ば近くで最も高く、次いで「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」(11.3%)、「高齢による衰弱」(9.7%)の順となっている。

性別で見ると、「骨折・転倒」は、女性の方が12.9ポイント高くなっている。また、「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞、くも膜下出血等)」は、男性の方が8.2ポイント高くなっている。

<図表152> 介護が必要となった主な原因【性別】

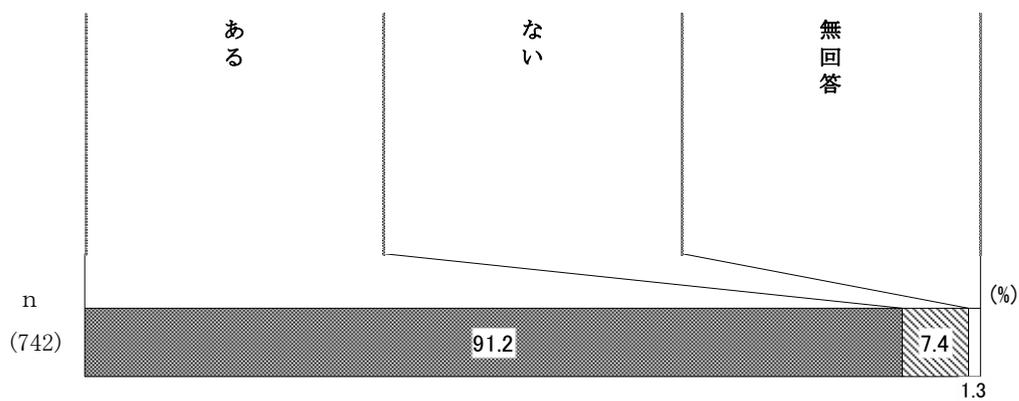


(5) 健康状態や健康づくり等について

①治療中の病気の有無

問18 あなたは、現在治療中の病気がありますか。(1つに○)

<図表153> 治療中の病気の有無

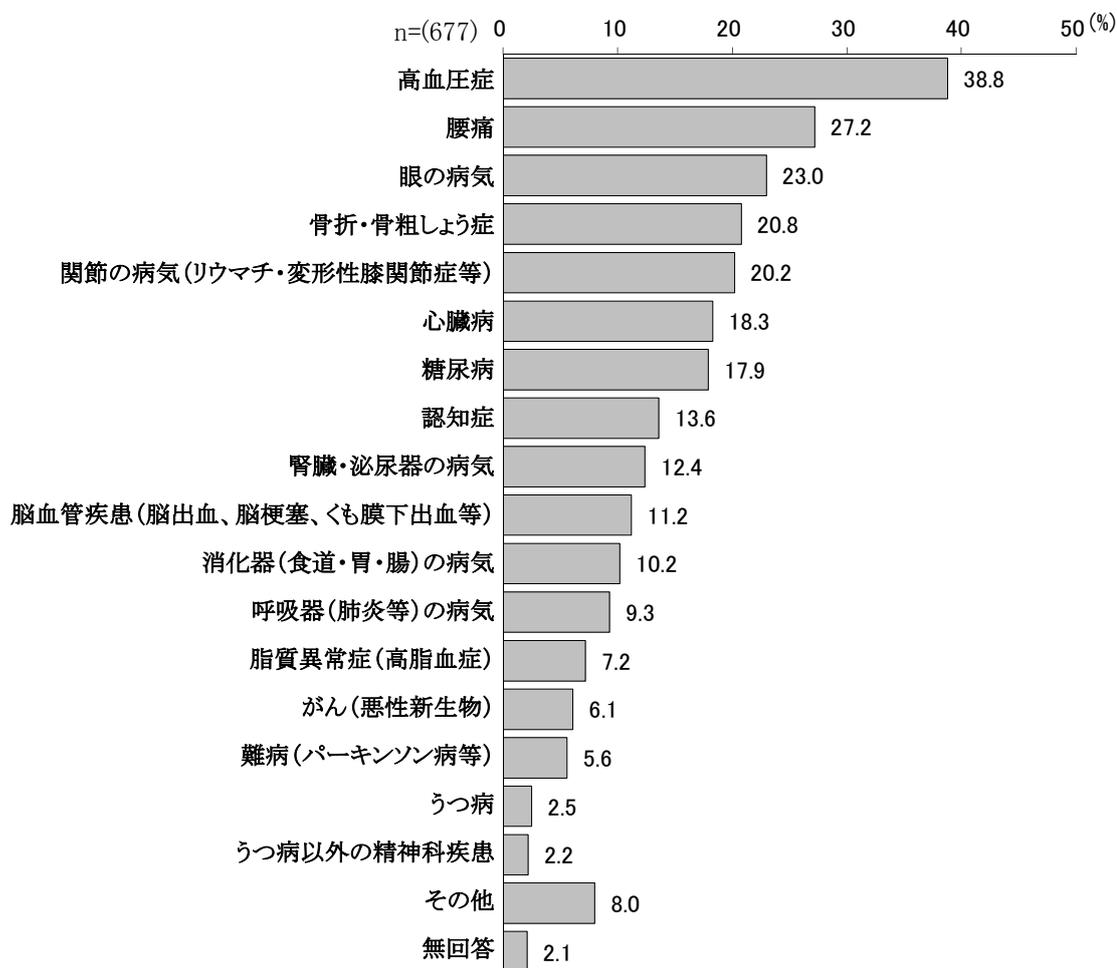


現在治療中の病気の有無をたずねたところ、「ある」(91.2%)が9割強となっている。

②治療中の病気の種類

問18-1 ≪問18で「ある」を選んだ方のみお答えください≫
 治療中の病気は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表154> 治療中の病気の種類 (複数回答)

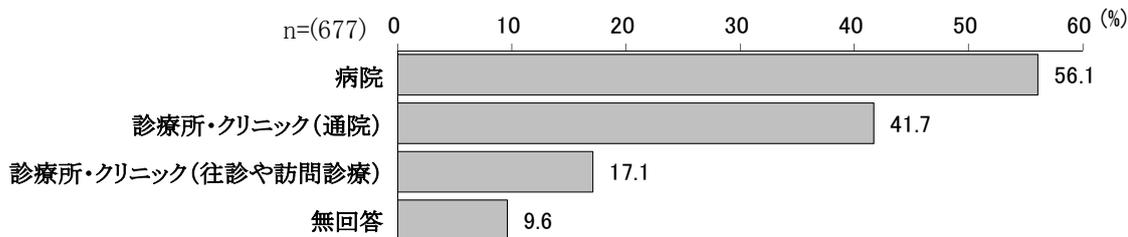


問18で治療中の病気が「ある」と回答した人に治療中の病気についてたずねたところ、「高血圧症」(38.8%)が4割近くで最も高く、次いで、「腰痛」(27.2%)、「眼の病気」(23.0%)の順となっている。

③受診している医療機関

問18-2 《問18で「ある」を選んだ方のみお答えください》
 受診している医療機関は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表155> 受診している医療機関 (複数回答)

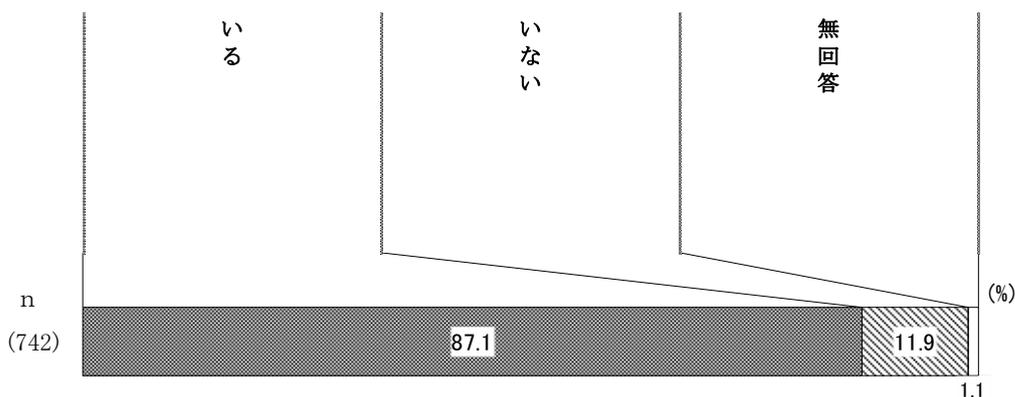


問18で治療中の病気が「ある」と回答した人に受診している医療機関についてたずねたところ、「病院」(56.1%)が5割台半ばを超えて最も高く、次いで「診療所・クリニック(通院)」(41.7%)の順となっている。

④かかりつけ医の有無

問19 あなたには、継続的に診療を受けていたり、体調が悪いときなどに気軽に相談できる診療所・クリニックの「かかりつけ医」がいますか。(1つに○)

<図表156> かかりつけ医の有無

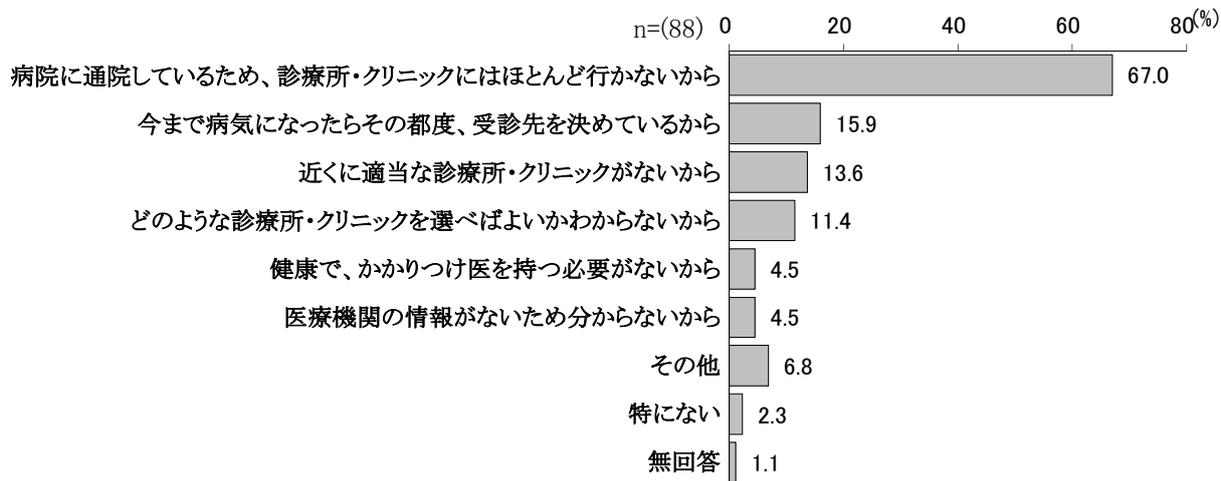


かかりつけ医の有無をたずねたところ、「いる」(87.1%)が8割代半ばを超えている。

⑤かかりつけ医がない理由

問19-1 《問19で「いない」を選んだ方のみお答えください》
 かかりつけ医がない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表157> かかりつけ医がない理由（複数回答）

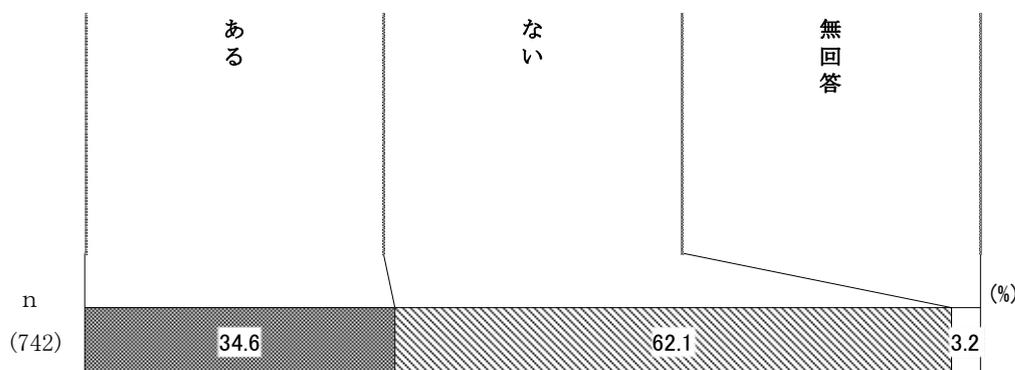


問19でかかりつけ医が「いない」と回答した人に、かかりつけ医がない理由をたずねたところ、「病院に通院しているため、診療所・クリニックにはほとんど行かないから」(67.0%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで、「今まで病気になったらその都度、受診先を決めているから」(15.9%)、「近くに適切な診療所・クリニックがないから」(13.6%)の順となっている。

⑥過去1年以内の入院経験

問20 あなたは、過去1年以内に入院した経験がありますか。(1つに○)

<図表158> 過去1年以内の入院経験

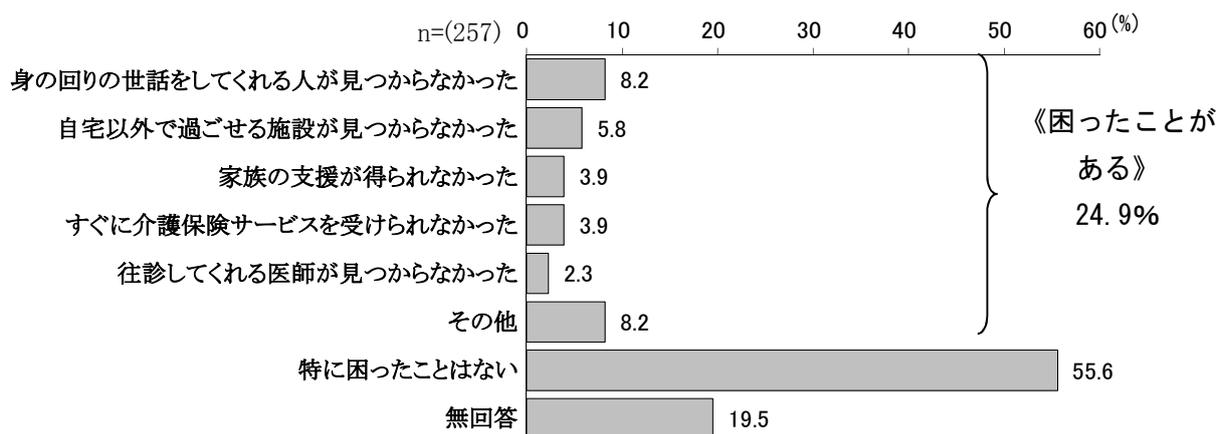


過去1年間に入院した経験の有無をたずねたところ、「ある」(34.6%)は3割台半ば近くとなっている。

⑦退院にあたって困ったこと

問20-1 <<問20で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
退院にあたって困ったことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表159> 退院にあたって困ったこと(複数回答)



問20で過去1年間に入院した経験が「ある」と回答した人に、退院にあたって困ったことをたずねたところ、《困ったことがある》(24.9%)が2割台半ば近くとなっている。具体的な内容としては、「身の回りの世話をしてくれる人が見つからなかった」(8.2%)、「自宅以外で過ごせる施設が見つからなかった」(5.8%)となっている。

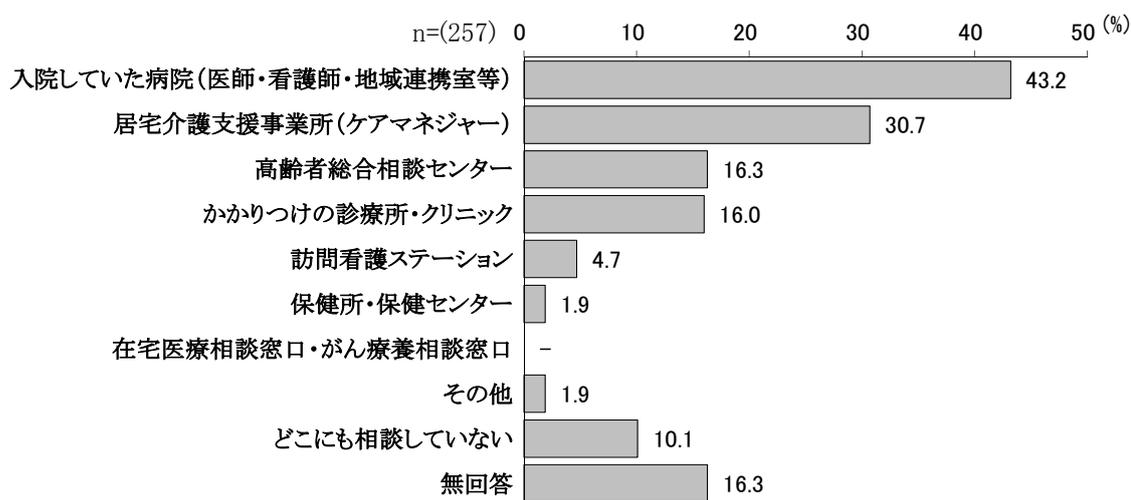
⑧退院にあたっての相談先

問20-2 《問20で「ある」を選んだ方のみお答えください》

退院にあたって、自宅で治療や介護を受けるために、どちらに相談しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

<図表160> 退院にあたっての相談先（複数回答）

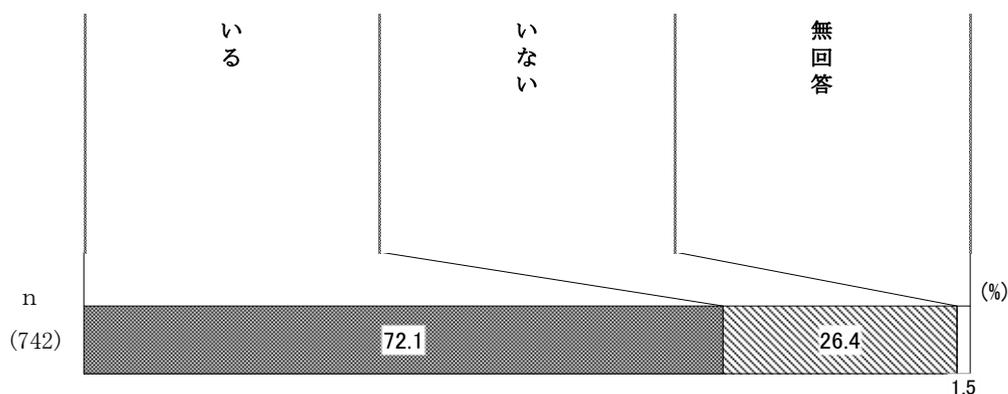


問20で過去1年間に入院した経験が「ある」と回答した人に、退院にあたっての相談先をたずねたところ、「入院していた病院(医師・看護師・地域連携室等)」(43.2%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)」(30.7%)、「高齢者総合相談センター」(16.3%)の順となっている。

⑨かかりつけ歯科医の有無

問21 あなたは、治療や予防のために気軽に受診できる「かかりつけ歯科医」がいますか。
(1つに○)

<図表161> かかりつけ歯科医の有無

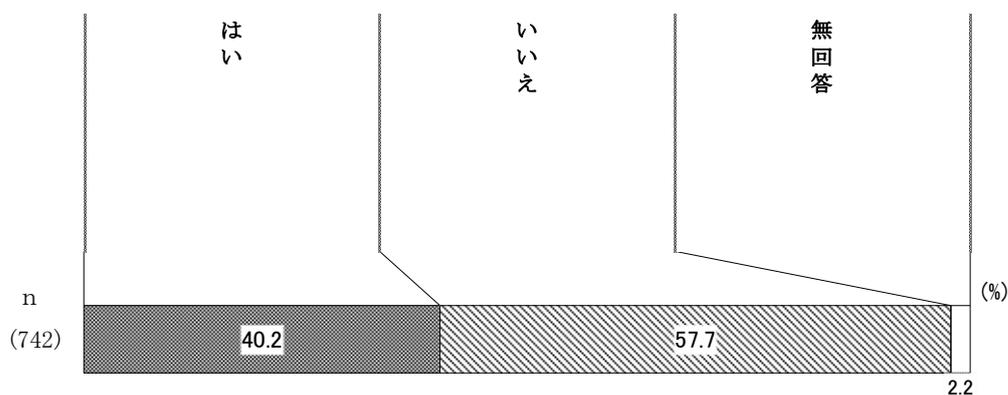


かかりつけ歯科医の有無をたずねたところ、「いる」(72.1%)が7割強となっている。

⑩往診してくれる歯科医院の認知度

問22 あなたは、往診してくれる歯科医院があることをご存じですか。(1つに○)

<図表162> 往診してくれる歯科医院の認知度



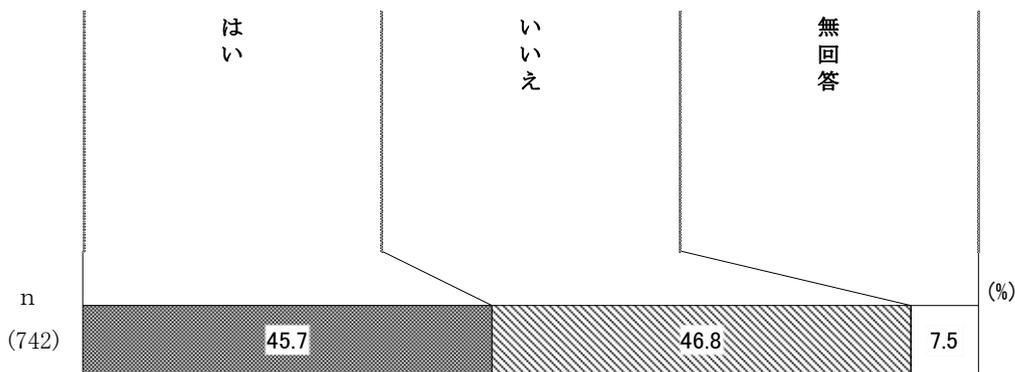
往診してくれる歯科医の認知度をたずねたところ、「はい」(40.2%)が約4割となっている。

⑪食べる機能について

問23 あなたの食べる機能について、ア～ウのすべての質問にお答えください。
 (それぞれ1つに○)

<図表163> 食べる機能について

ア. 半年前に比べて硬いものが食べにくいですか



イ. お茶や汁等でむせることはありますか



ウ. 口の渇きが気になりますか

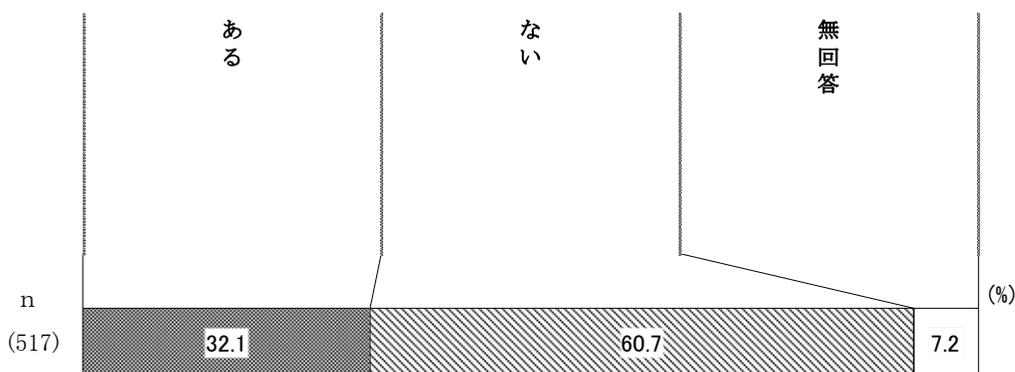


硬いものの食べにくさの有無をたずねたところ、「はい」(45.7%)が4割台半ばとなっている。
 お茶や汁等でむせることの有無をたずねたところ、「はい」(39.1%)が4割弱となっている。
 口の渇きの有無をたずねたところ、「はい」(40.3%)が約4割となっている。

⑫食べる機能について相談したことの有無

問23-1 ≪問23の食べる機能ア～ウのいずれかで「はい」を選んだ方のみお答えください≫
 専門家に相談したことはありますか。(1つに○)

<図表164> 食べる機能について相談したことの有無

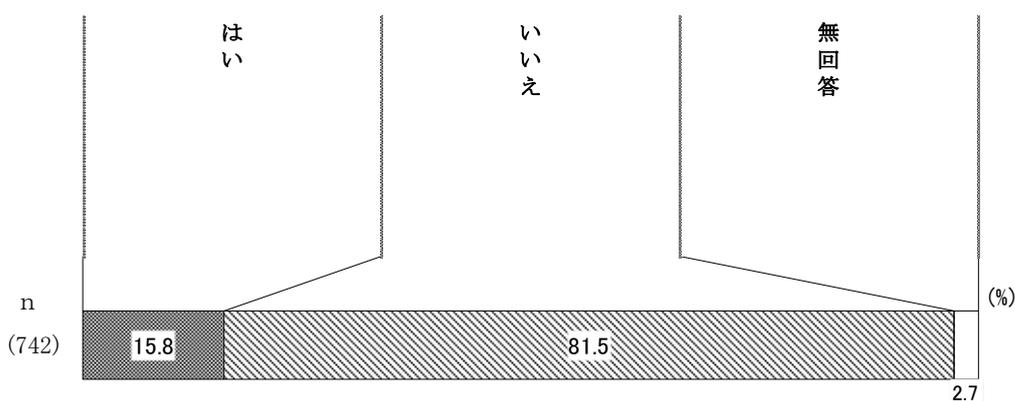


問23で食べる機能について「はい」と回答した人に、専門家に相談したことの有無をたずねたところ、「ある」(32.1%)が3割強、「ない」(60.7%)が約6割となっている。

⑬食べる機能が衰えてきた時の相談先の認知度

問24 あなたは、食べる機能が衰えてきた時、区の在宅医療相談窓口等で、相談にのってもらえることをご存じですか。(1つに○)

<図表165> 食べる機能が衰えてきた時の相談先の認知度

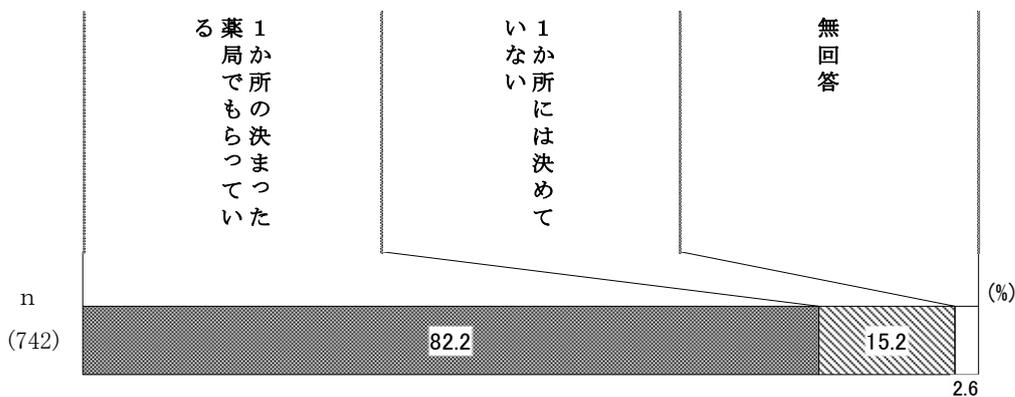


食べる機能が衰えてきた時の相談先の認知度をたずねたところ、「はい」(15.8%)が1割台半ば、「いいえ」(81.5%)が8割強となっている。

⑭薬をもらう薬局の特定

問25 あなたは、病院・診療所から処方された薬をもらう薬局を1か所に決めていますか。
(1つに○)

<図表166> 薬をもらう薬局を1か所に決めているか

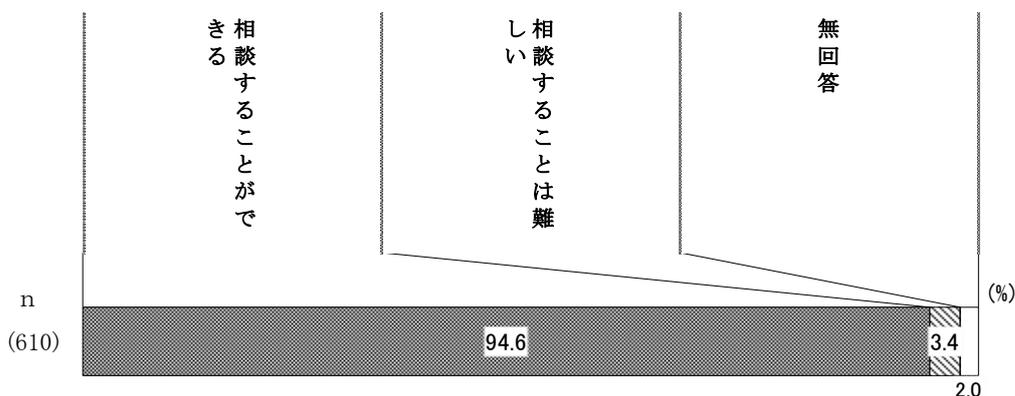


薬をもらう薬局を1か所に決めているかたずねたところ、「1か所の決まった薬局でもらっている」(82.2%)が8割強、「1か所には決めていない」(15.2%)が1割台半ばとなっている。

⑮薬の説明を聞いたり、相談をすることの可能性

問25-1 <<問25で「1か所の決まった薬局でもらっている」を選んだ方のみお答えください>>
その薬局では、薬の説明を聞いたり、相談をすることができますか。(1つに○)

<図表167> 薬局で薬の説明を聞いたり、相談をすることができるか

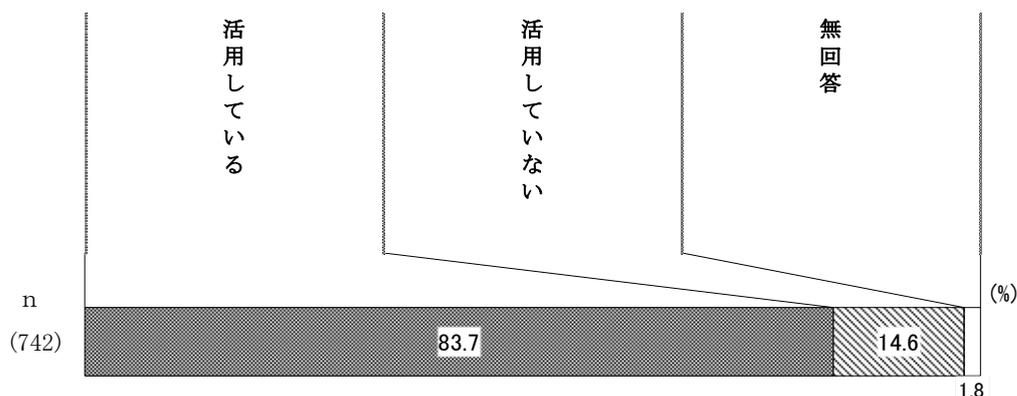


問25で「1か所の決まった薬局でもらっている」と回答した人に、薬局で薬の説明を聞いたり、相談することができるかたずねたところ、「相談することができる」(94.6%)が9割台半ば近くとなっている。

⑩お薬手帳の活用状況

問26 医師や薬剤師に見せることであなたの薬の情報が正しく伝わり、治療方針を検討する役に立てることができる「お薬手帳」を活用していますか。(1つに○)

<図表168> お薬手帳の活用状況



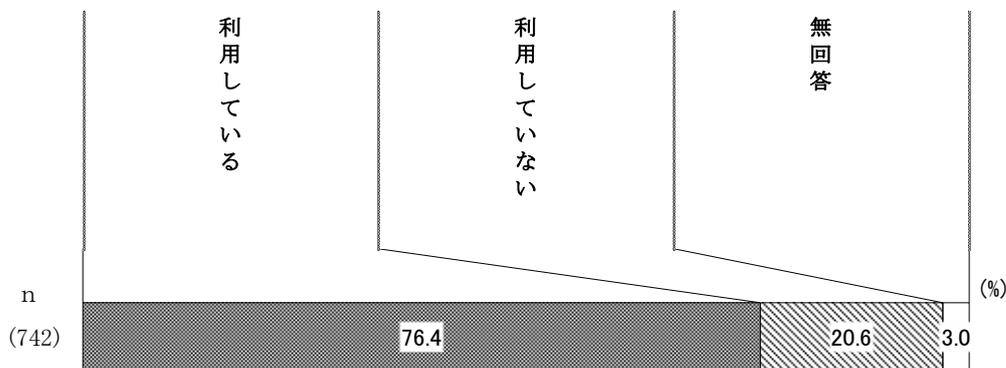
お薬手帳の活用状況をたずねたところ、「活用している」(83.7%)は8割台半ば近く、「活用していない」(14.6%)は1割台半ば近くとなっている。

(6) 介護保険サービスの利用状況と利用意向

①介護保険サービスの利用状況

問27 あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

<図表169> 介護保険サービスの利用状況

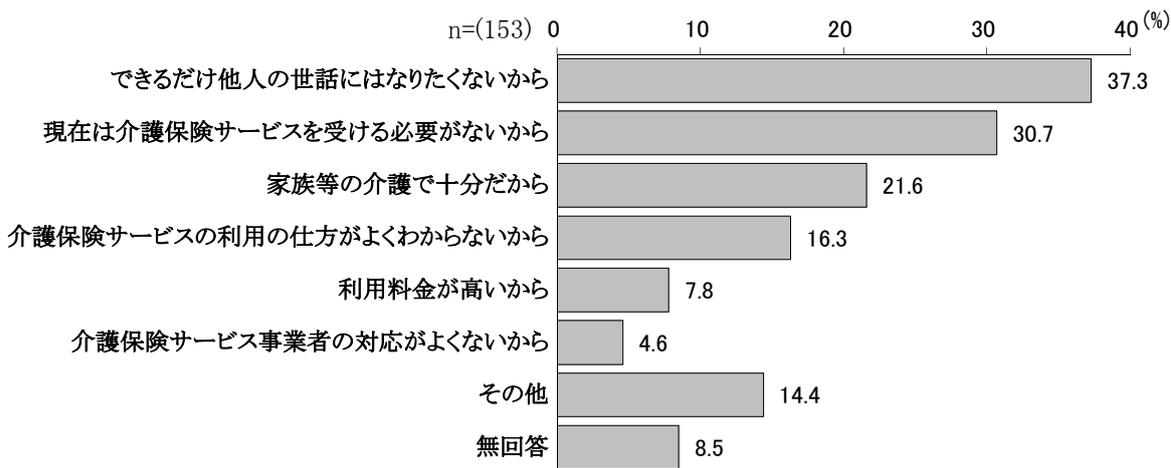


介護保険サービスの利用状況をたずねたところ、「利用している」(76.4%)は7割台半ばを超えている。

②介護保険サービスを利用していない理由

問27-1 <<問27で「利用していない」を選んだ方のみお答えください>>
 介護保険サービスを利用していない理由は、次のうちどれですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表170> 介護保険サービスを利用していない理由 (複数回答)

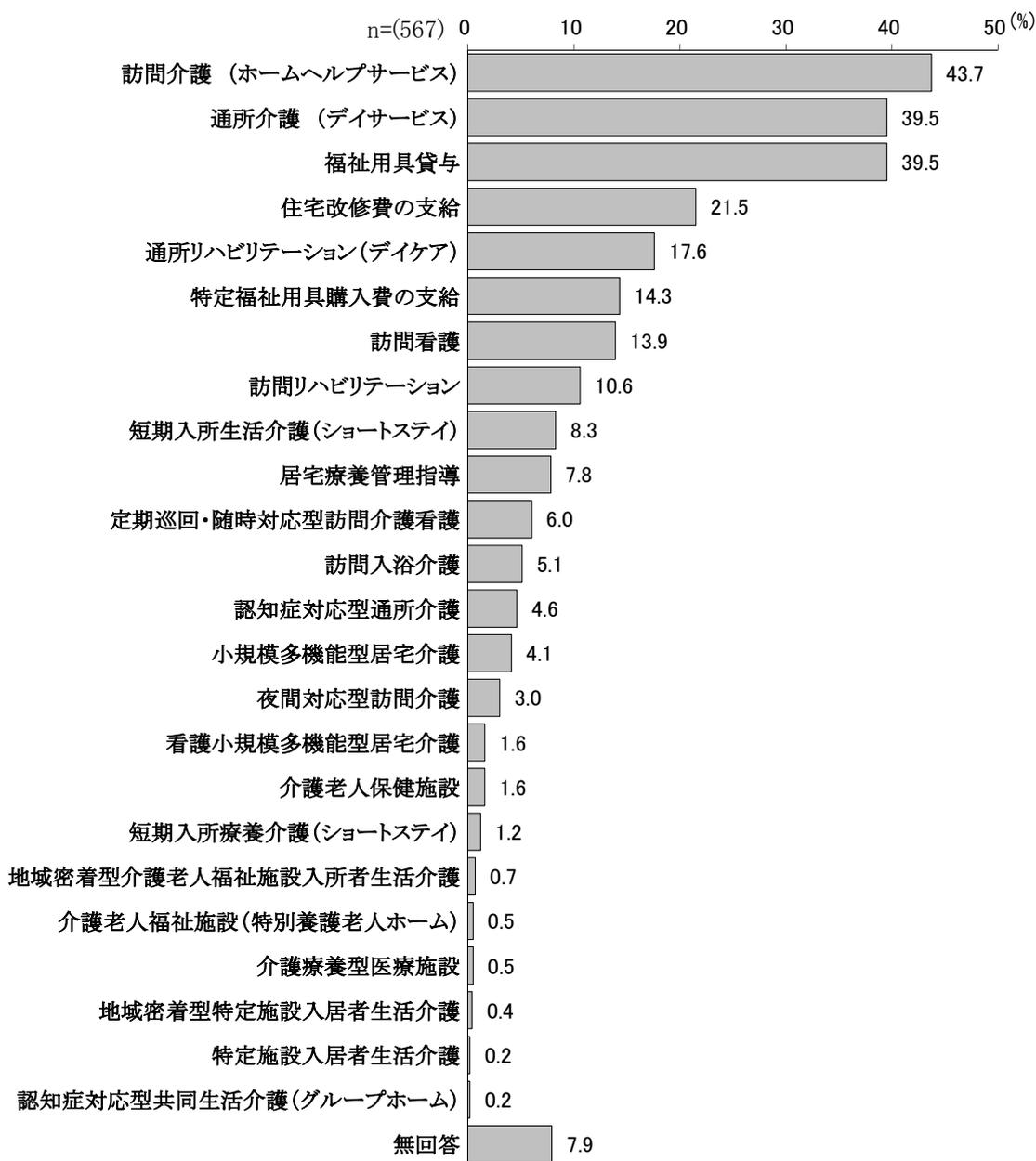


問27で介護保険サービスを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「できるだけ他人の世話にはなりたくないから」(37.3%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「現在は介護保険サービスを受ける必要がないから」(30.7%)、「家族等の介護で十分だから」(21.6%)の順となっている。「その他」では、本人が嫌がるから、行く気にならないからといった内容があげられた。

③利用している介護保険サービスと満足度

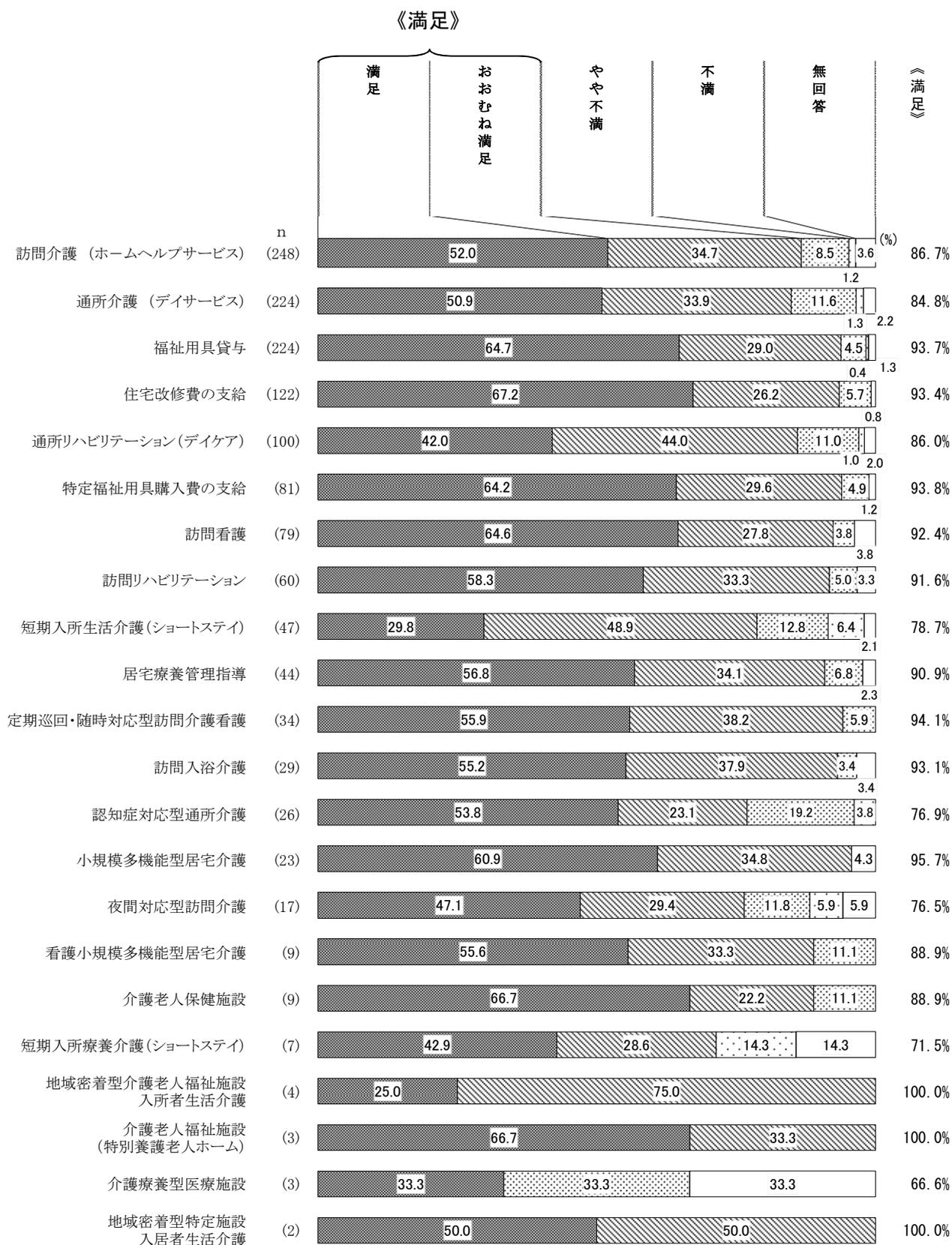
問27-2 《問27で「利用している」を選んだ方のみお答えください》
 現在ご利用の介護保険サービスと利用満足度についておたずねします。

<図表171> 利用している介護保険サービス（複数回答）

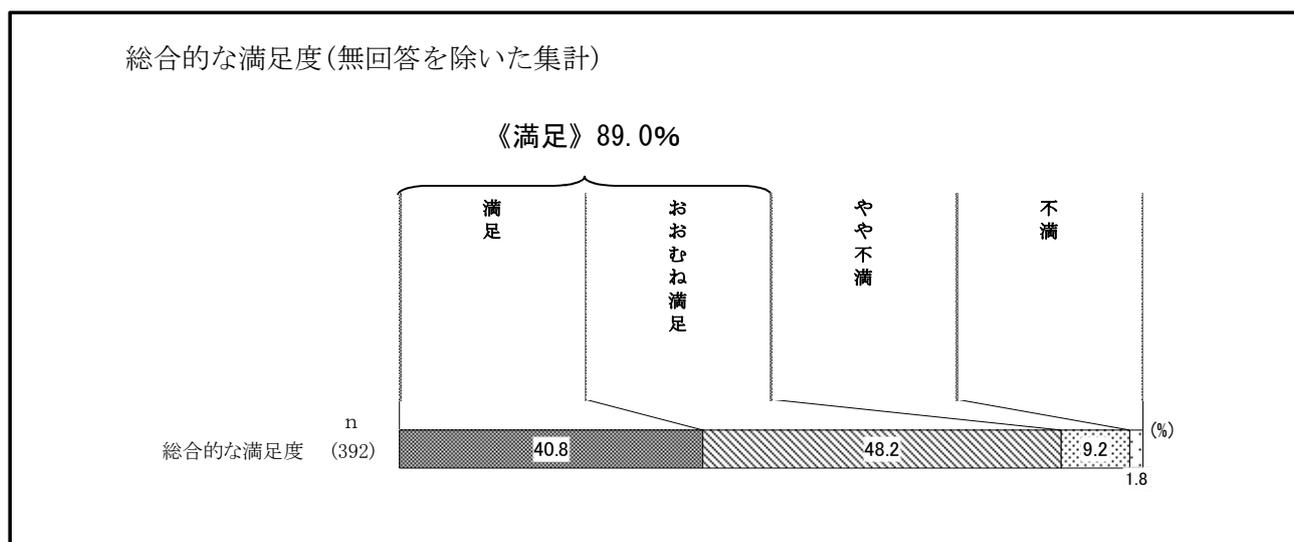
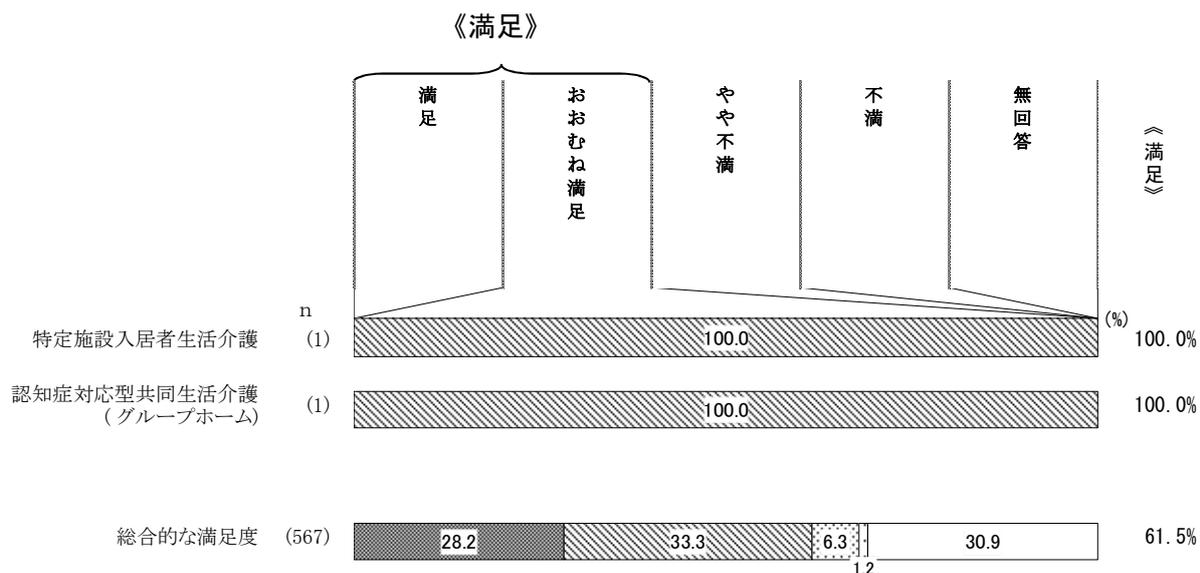


問27で介護保険サービスを「利用している」と回答した人に利用しているサービスについてたずねたところ、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（43.7%）が4割台半ば近くで最も高く、次いで、「通所介護（デイサービス）」及び「福祉用具貸与」（ともに39.5%）の順となっている。

<図表172> 利用している介護保険サービスの満足度



利用している介護保険サービスの満足度（前ページの続き）

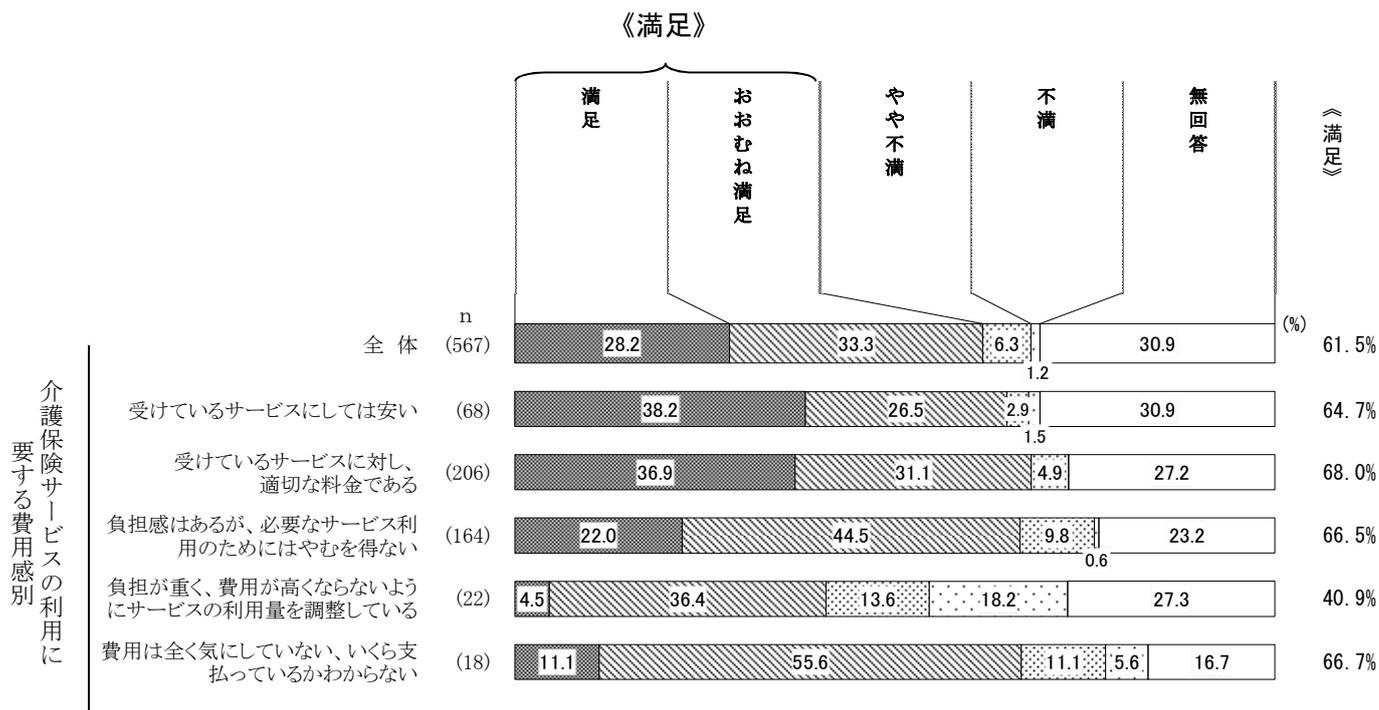


現在利用しているサービスの満足度についてたずねたところ、「満足」と「おおむね満足」をあわせた《満足》は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(94.1%)が9割台半ば近くで最も高く、次いで「特定福祉用具購入費の支給」(93.8%)、「福祉用具貸与」(93.7%)の順となっている。

また、総合的な満足度についてたずねたところ、無回答を除いた場合、「満足」と「おおむね満足」をあわせた《満足》は89.0%となっている。

<図表173> 利用している介護保険サービスの満足度

【介護保険サービスの利用に要する費用感別（問27-3）P129】



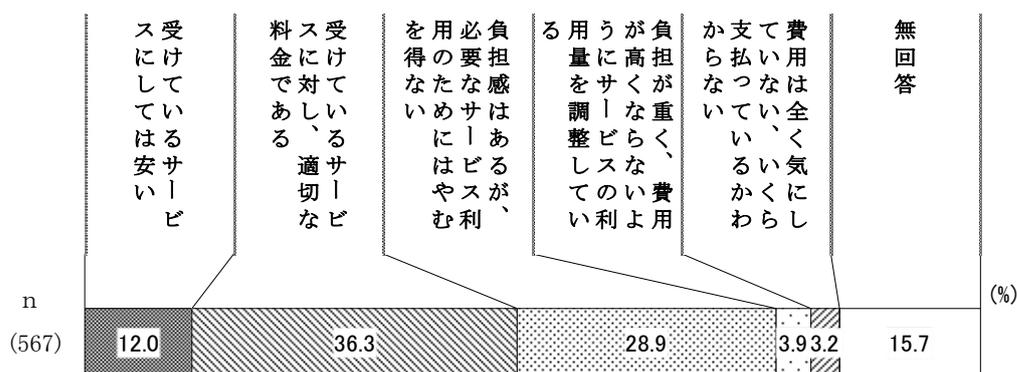
介護保険サービスの利用に要する費用感別でみると、「受けているサービスに対し、適切な料金である」と回答した人のうち、7割近くの人が《満足》(68.0%)と回答している。

④介護保険サービスの利用に要する費用について

問27-3 《問27で「利用している」を選んだ方のみお答えください》

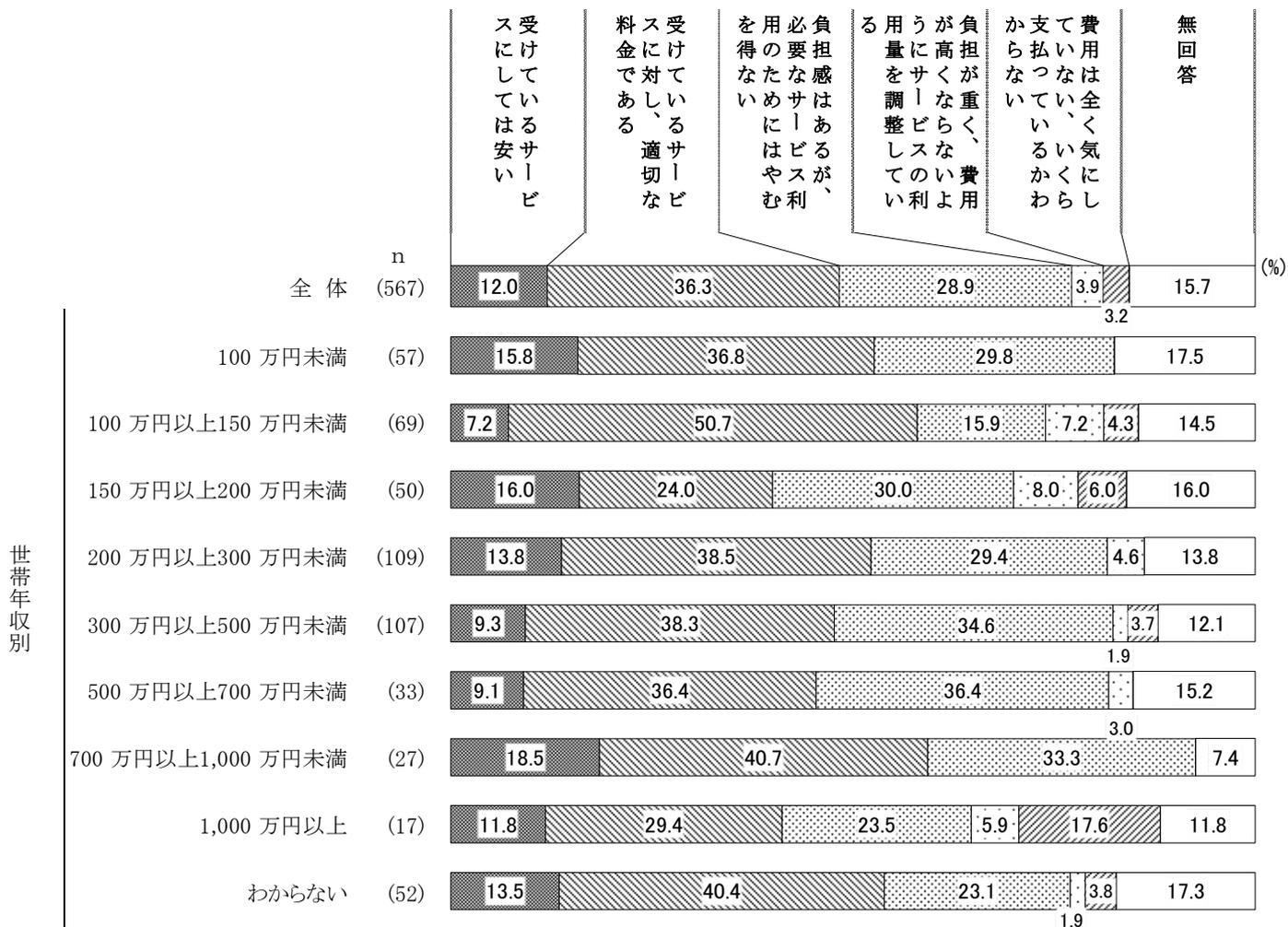
介護保険サービスの利用に要する費用（1割または2割の利用者負担）について、どのよう
にお感じですか。（1つに○）

<図表174> 介護保険サービスの利用に要する費用について



介護保険サービスの利用に要する費用についてたずねたところ、「受けているサービスに対し、適切な料金である」(36.3%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「負担感はあるが、必要なサービス利用のためにはやむを得ない」(28.9%)、「受けているサービスにしては安い」(12.0%)の順となっている。

<図表175> 介護保険サービスの利用に要する費用について【世帯年収別（問7）】

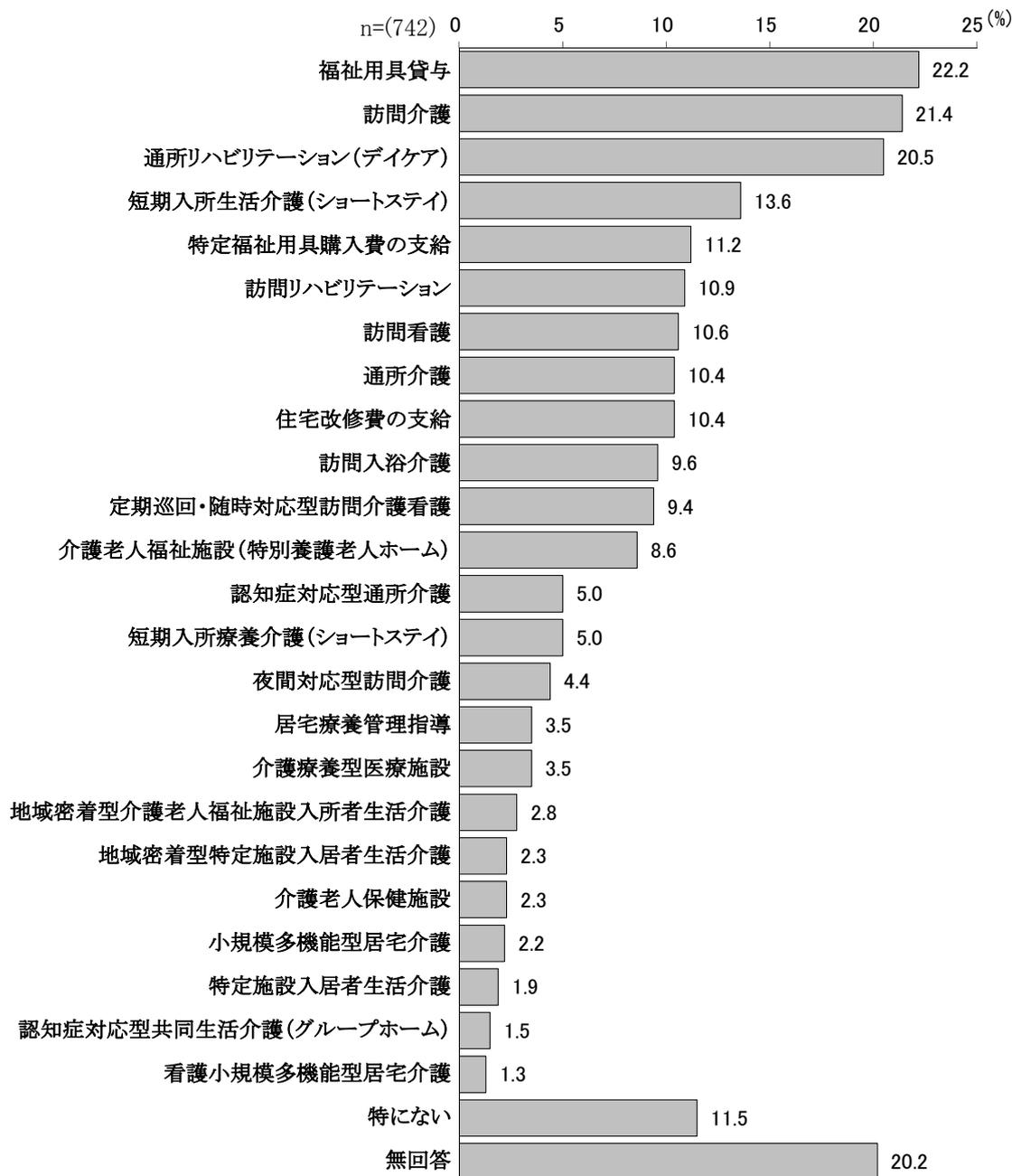


※利用者負担が2割になる場合の目安
 例) ひとり世帯で年金収入のみの場合、収入が280万円以上の方

⑤新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス

問28 介護保険サービスで、あなたが今後新たに利用してみたい(または続けたい)ものは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表176> 新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービス (複数回答)

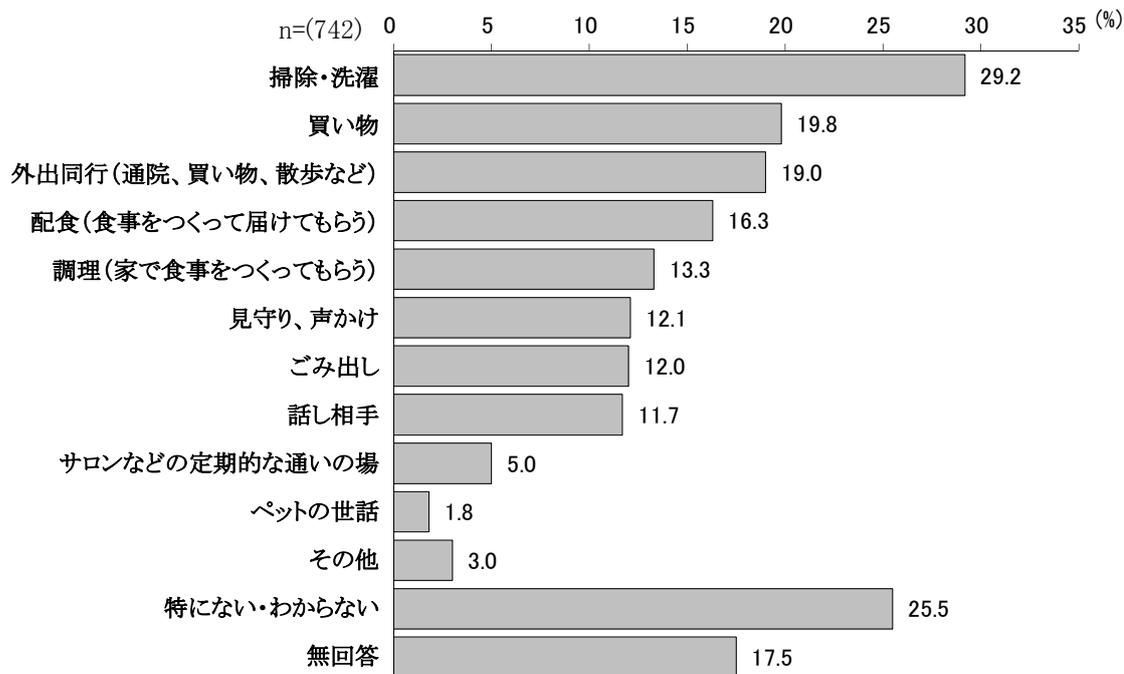


新たに利用してみたい(続けたい)介護保険サービスをたずねたところ、「福祉用具貸与」(22.2%)が2割強で最も高く、次いで、「訪問介護」(21.4%)、「通所リハビリテーション(デイケア)」(20.5%)の順となっている。

⑥在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問29 あなたが、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じるものも含む）はありますか。（あてはまるものすべてに○）

<図表177> 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答）

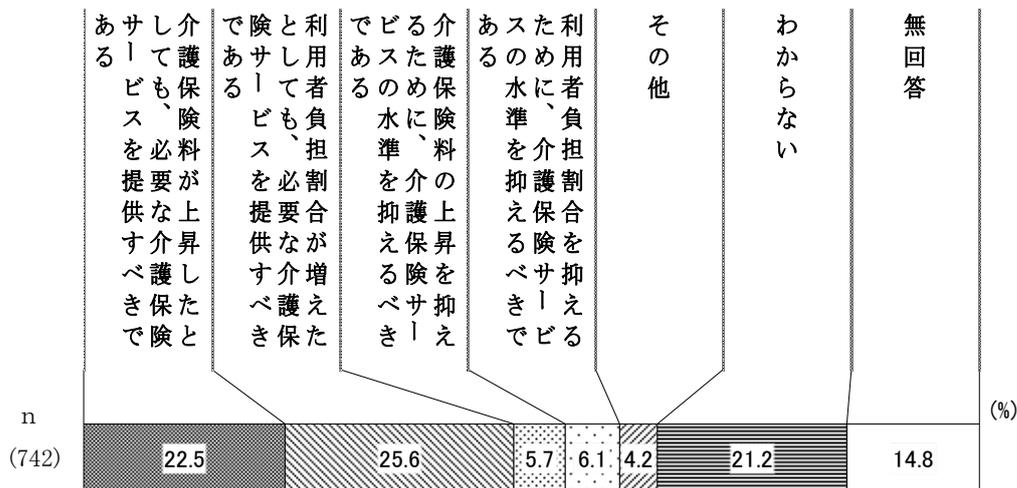


在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについてたずねたところ、「掃除・洗濯」(29.2%)が3割弱と最も高く、次いで、「買い物」(19.8%)、「外出同行(通院、買い物、散歩など)」(19.0%)の順となっている。

⑦介護保険のサービスと費用負担について

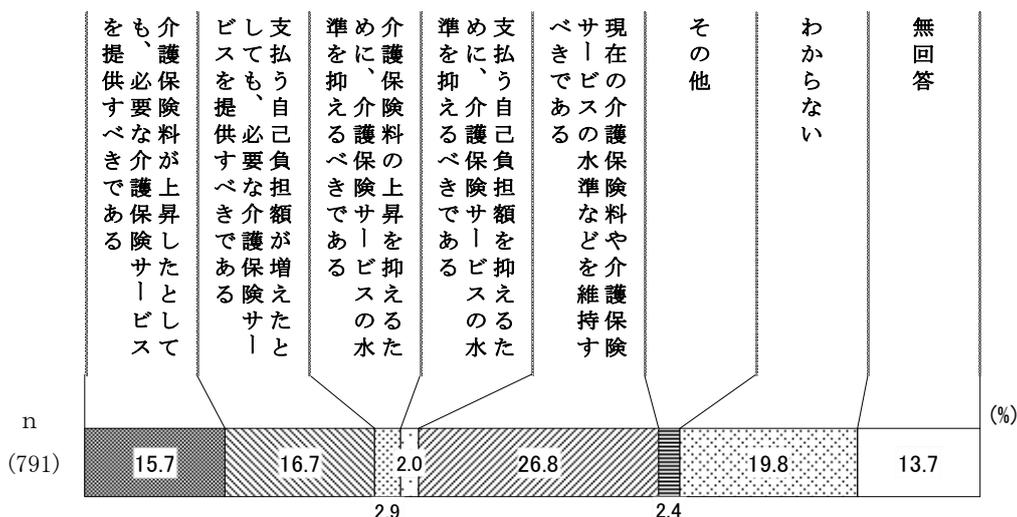
問30 今後、高齢者の増加に伴い、サービスにかかる費用も増大することが予想されます。介護保険のサービスと費用負担について、あなたのお考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(1つに○)

<図表178> 介護保険のサービスと費用負担について



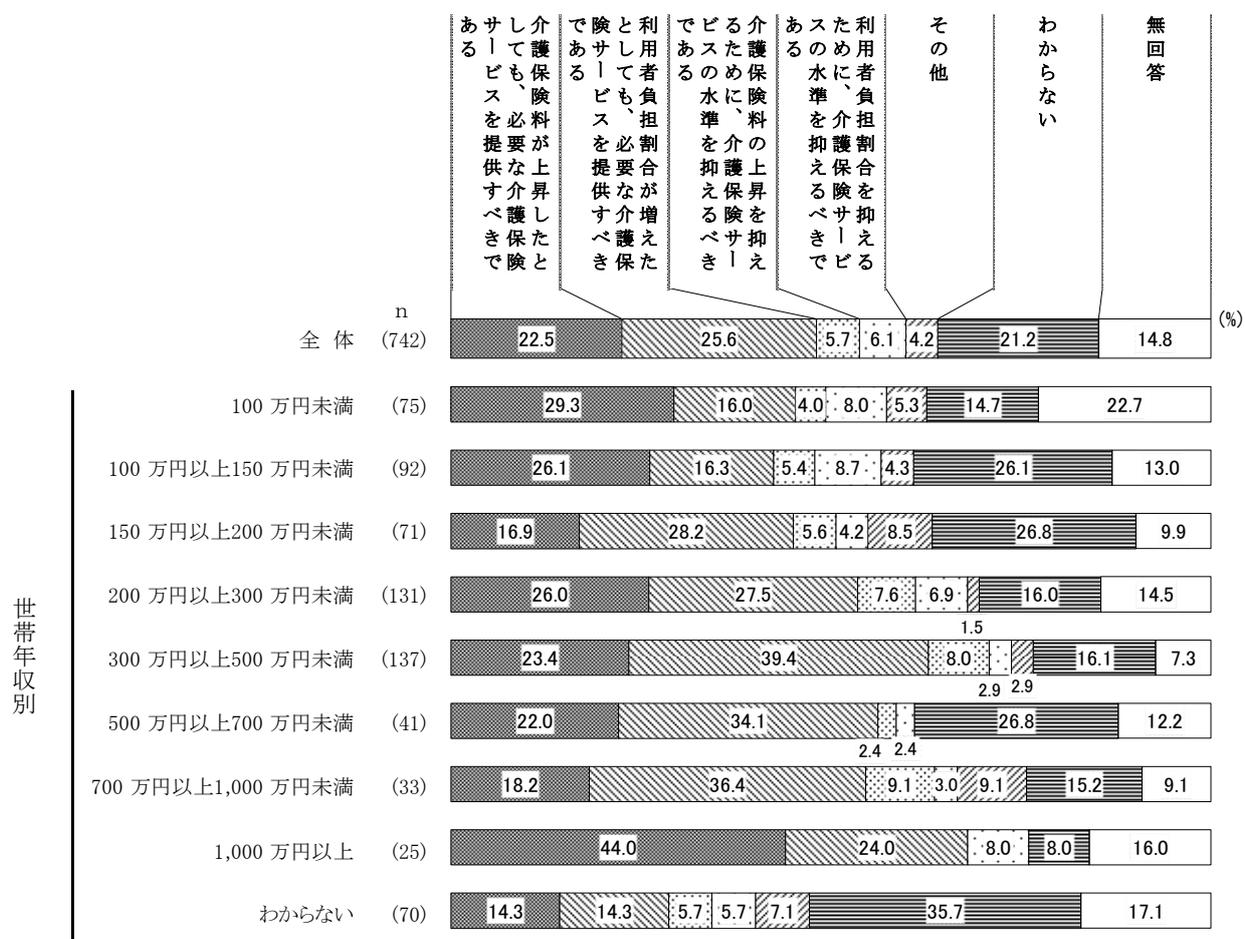
介護保険のサービスと費用負担についてたずねたところ、「利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(25.6%)が2割台半ばと最も高く、次いで、「介護保険料が上昇したとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」(22.5%)、「わからない」(21.2%)の順となっている。

【参考】 介護保険のサービスと費用負担について(平成25年度調査)



※今回調査(平成28年度)では選択肢に変更あり

<図表179> 介護保険のサービスと費用負担について【世帯年収別（問7）】



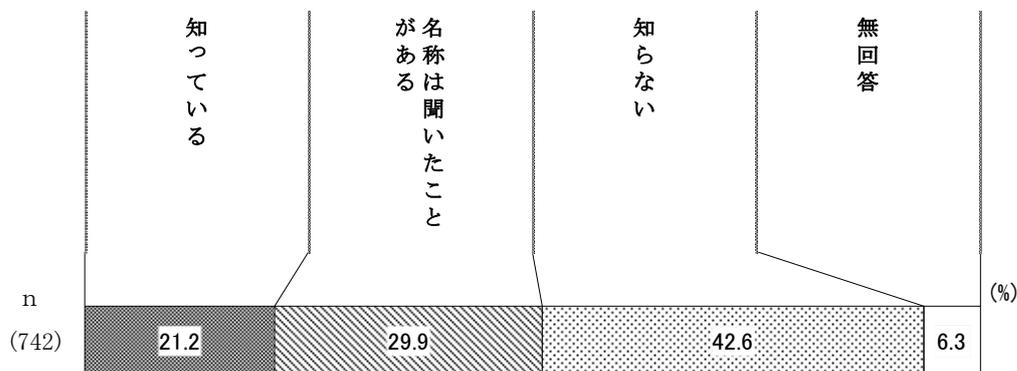
世帯年収別でみると、「利用者負担割合が増えたとしても、必要な介護保険サービスを提供すべきである」は、世帯年収が上がるほど、増加する傾向がみられる。

(7) 緩和医療・ケアについて

①がんの「緩和医療・ケア」の認知度

問31 あなたは、がんの「緩和医療・ケア」について、ご存じですか。(1つに○)

<図表180> がんの「緩和医療・ケア」の認知度

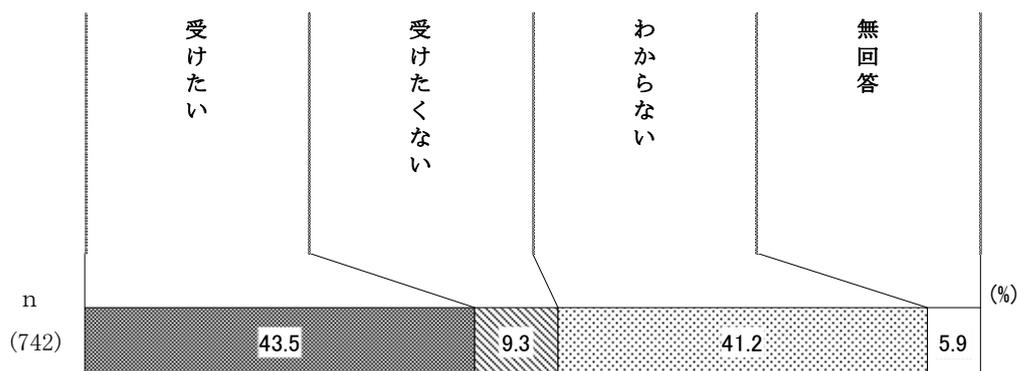


がんの「緩和医療・ケア」の認知度をたずねたところ、「知っている」(21.2%)は2割強、「名称は聞いたことがある」(29.9%)は3割弱となっている。

②がんの「緩和医療・ケア」の利用意向

問32 あなたは、がんで、病状の回復が期待できない場合、「緩和医療・ケア」を受けたいですか。(1つに○)

<図表181> がんの「緩和医療・ケア」の利用意向

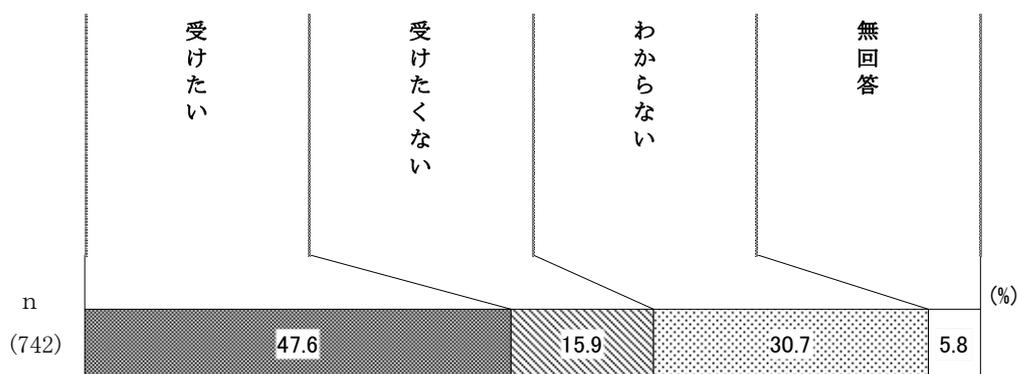


がんの「緩和医療・ケア」の利用意向をたずねたところ、「受けたい」(43.5%)は4割台半ば近くとなっている。

③がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向

問33 あなたは、がん以外の病気で、病状の回復が期待できない場合、症状の緩和を主とした医療・ケアを受けたいですか。(1つに○)

<図表182> がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向



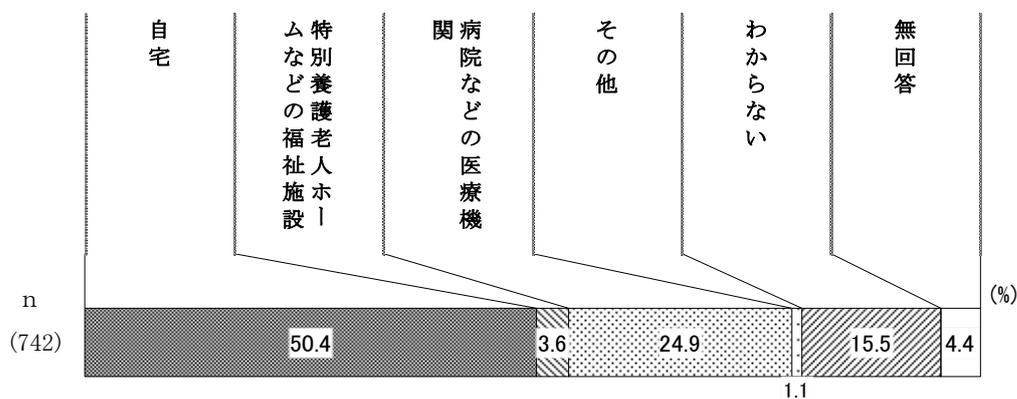
がん以外の病気で、症状の緩和を主とした医療・ケアの利用意向をたずねたところ、「受けたい」(47.6%)は4割台半ばを超えている。

(8) 人生の最終段階における医療について

① 最期を迎えたい場所

問34 あなたは、ご自身の最期をどこで迎えたいと思いますか。(1つに○)

<図表183> 最期を迎えたい場所

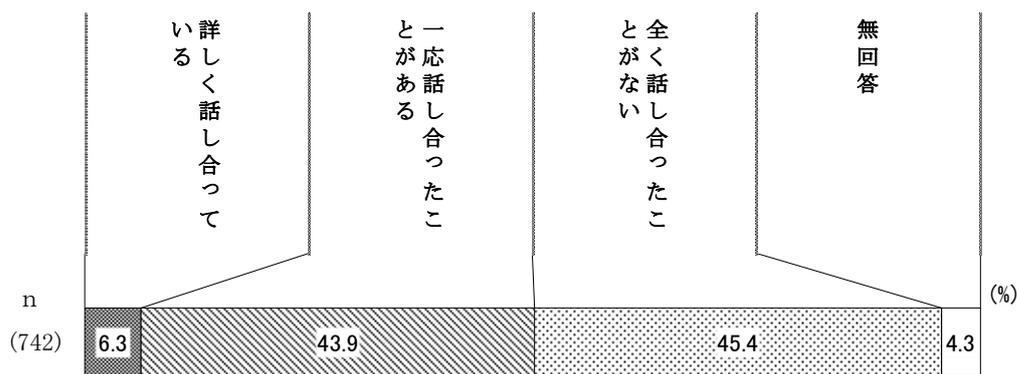


最期を迎えたい場所についてたずねたところ、「自宅」(50.4%)が約5割で最も高く、次いで、「病院などの医療機関」(24.9%)の順となっている。

② ご家族と話し合った経験

問35 あなたは、人生の最終段階において受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つに○)

<図表184> ご家族と話し合った経験

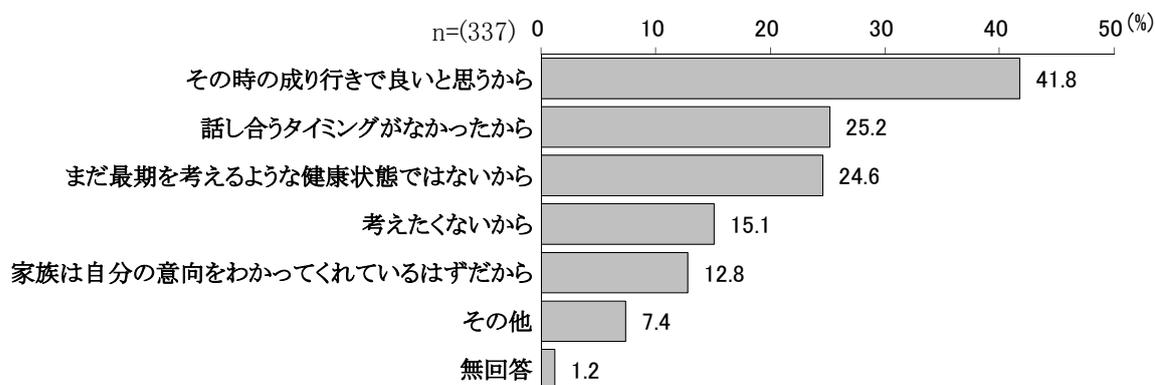


ご家族と話し合った経験をたずねたところ、「全く話し合ったことがない」(45.4%)が4割台半ばとなっている。

③全く話し合ったことがない理由

問35-1 《問35で「全く話し合ったことがない」を選んだ方のみお答えください》
それはどうしてですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表185> 全く話し合ったことがない理由 (複数回答)

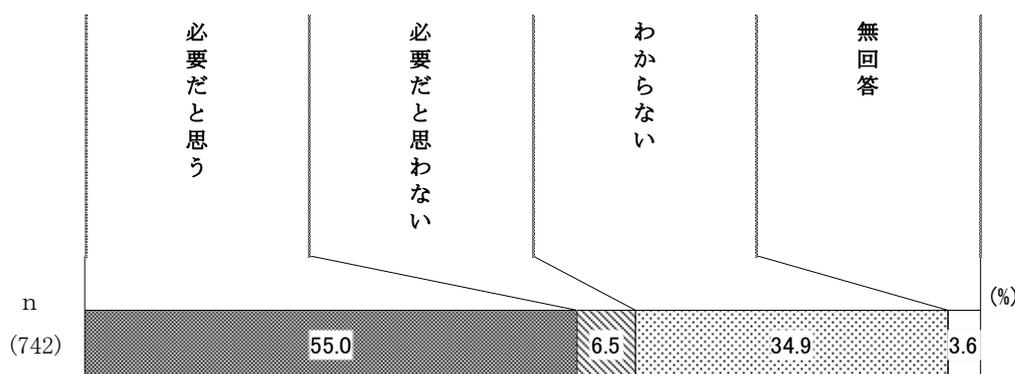


問35で「全く話し合ったことがない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「その時の成り行きで良いと思うから」(41.8%)が4割強で最も高く、次いで、「話し合うタイミングがなかったから」(25.2%)、「まだ最期を考えるような健康状態ではないから」(24.6%)の順となっている。

④エンディングノートの作成

問36 あなたは、自分で判断出来なくなった場合に備えて、どのような治療を受けたいかあるいは受けたくないかなどを記載した書面（エンディングノートなど）をあらかじめ作成しておくことについて、どう思いますか。（1つに○）

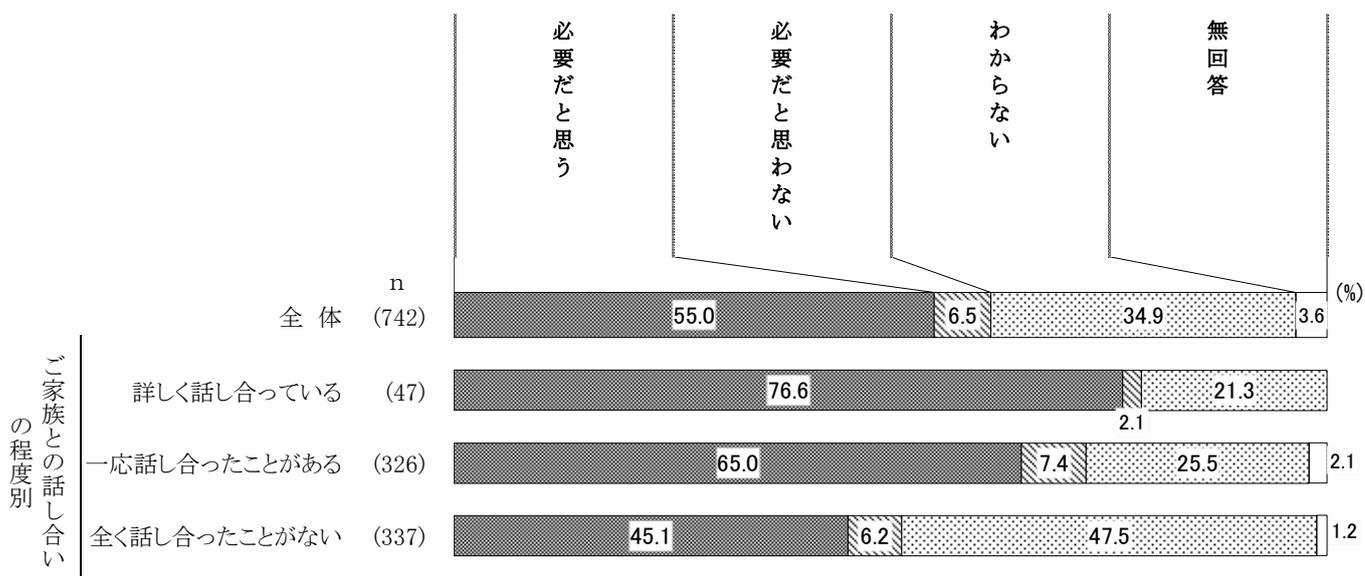
<図表186> エンディングノートの作成



エンディングノートの作成についてたずねたところ、「必要だと思う」(55.0%)が5割台半ばとなっている。

ご家族との話し合いの程度別でみると、「必要だと思う」との回答は、ご家族との話し合いの程度が深くなるほど、増加する傾向にある。

<図表187> エンディングノートの作成【ご家族との話し合いの程度別（問35）】

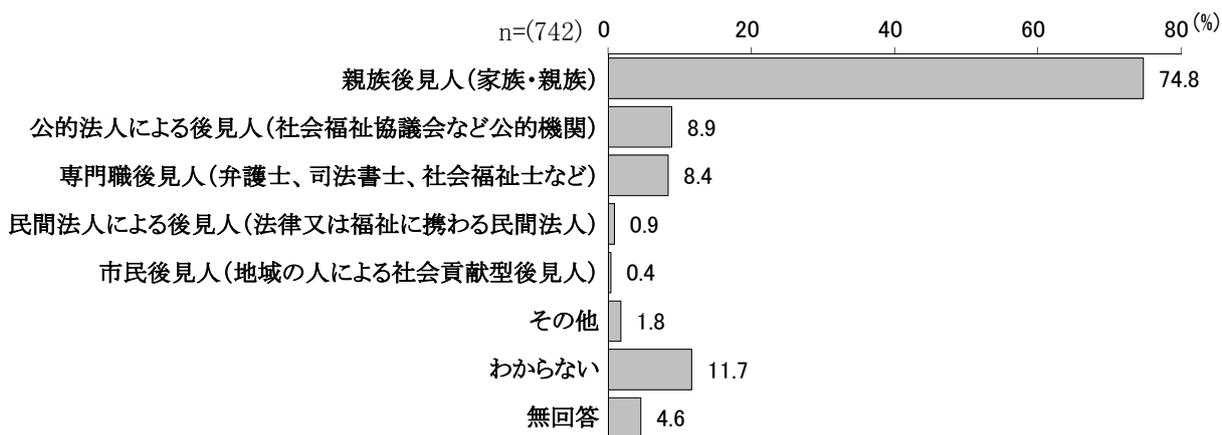


(9) 権利擁護について

① 成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人

問37 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、どのような人に後見人になって欲しいと思いますか。すでに利用している方もお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

<図表188> 成年後見制度を利用する際、後見人になってほしい人 (複数回答)

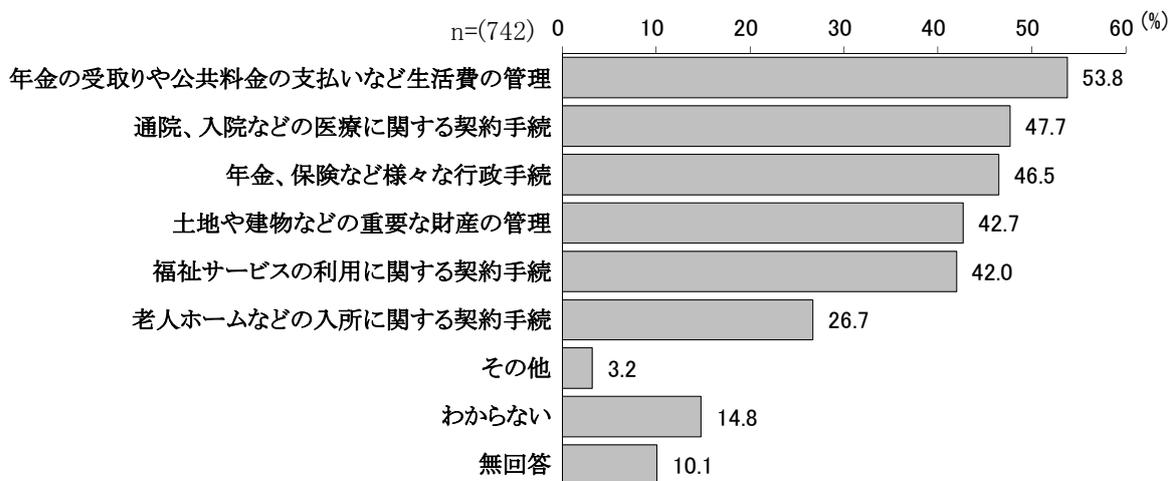


成年後見制度を利用する際、後見人になって欲しい人をたずねたところ、「親族後見人(家族・親族)」(74.8%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで、「公的法人による後見人(社会福祉協議会など公的機関)」(8.9%)、「専門職後見人(弁護士、司法書士、社会福祉士など)」(8.4%)の順となっている。

② 成年後見制度を利用する際、期待する役割

問38 あなたが成年後見制度を利用することになった場合、期待する役割は何ですか。すでに利用している方もお答えください。(あてはまるものすべてに○)

<図表189> 成年後見制度を利用する際、期待する役割 (複数回答)

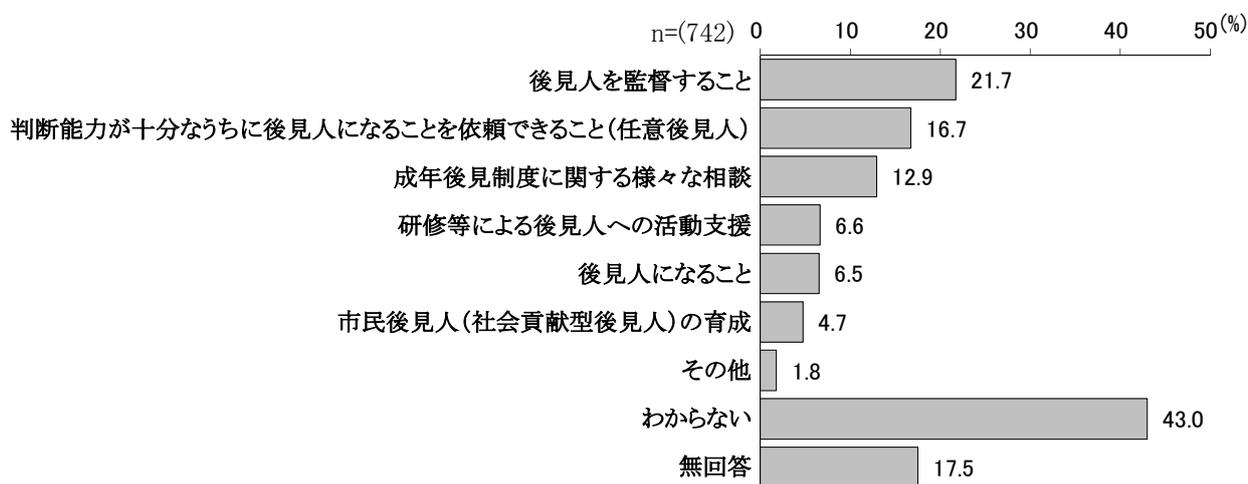


成年後見制度を利用する際、期待する役割をたずねたところ、「年金の受取りや公共料金の支払いなど生活費の管理」(53.8%)が5割台半ば近くと最も高く、次いで、「通院、入院などの医療に関する契約手続」(47.7%)、「年金、保険など様々な行政手続」(46.5%)の順となっている。

③成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割

問39 成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表190> 成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割 (複数回答)



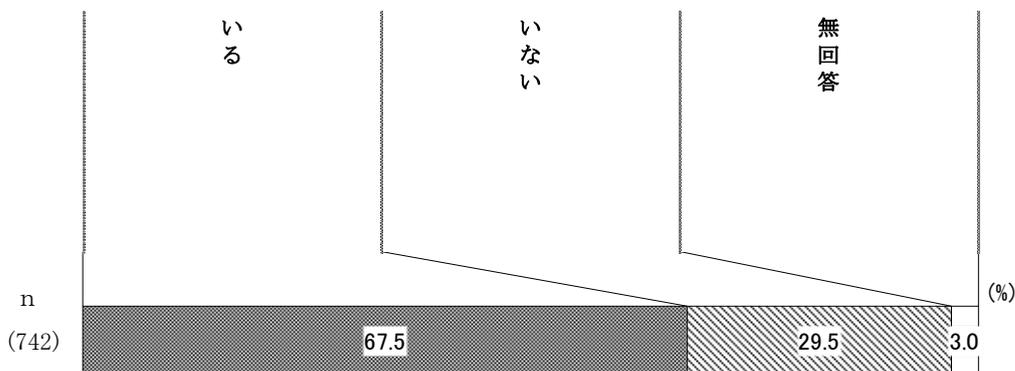
成年後見制度において、社会福祉協議会に期待する役割をたずねたところ、「後見人を監督すること」(21.7%)が2割強で最も高く、次いで、「判断能力が十分なうちに後見人になることを依頼できること(任意後見人)」(16.7%)、「成年後見制度に関する様々な相談」(12.9%)の順となっている。一方、「わからない」(43.0%)は4割台半ば近くとなっている。

(10) 災害時の支援について

①災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

問40 災害で困った時、同居者以外で頼りになる人がいますか。(1つに○)

<図表191> 災害時に同居者以外で頼りになる人の有無

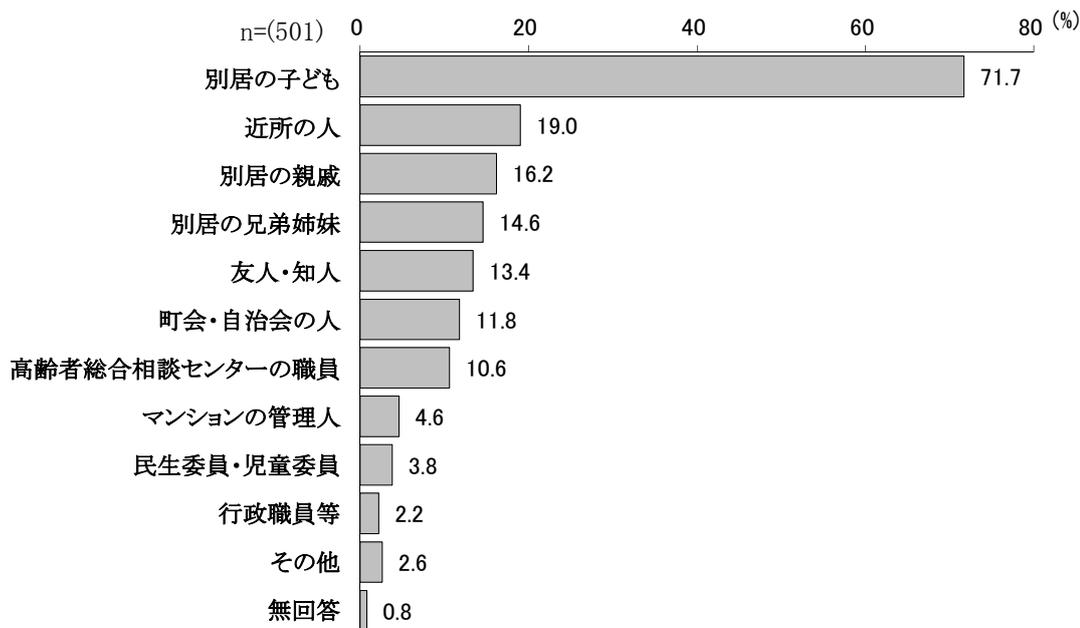


災害時に同居者以外で頼りになる人の有無をたずねたところ、「いる」(67.5%)は6割台半ばを超えている。

②災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄

問40-1 <<問40で「いる」を選んだ方のみお答えください>>
それはどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表192> 災害時に同居者以外で頼りになる人の続柄(複数回答)



問40で災害時に同居者以外で頼りになる人が「いる」と回答した人に、その続柄をたずねたところ、「別居の子ども」(71.7%)が7割強と最も高く、次いで、「近所の人」(19.0%)、「別居の親戚」(16.2%)の順となっている。

(11) 健康・福祉サービスの情報や相談窓口について

①高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度

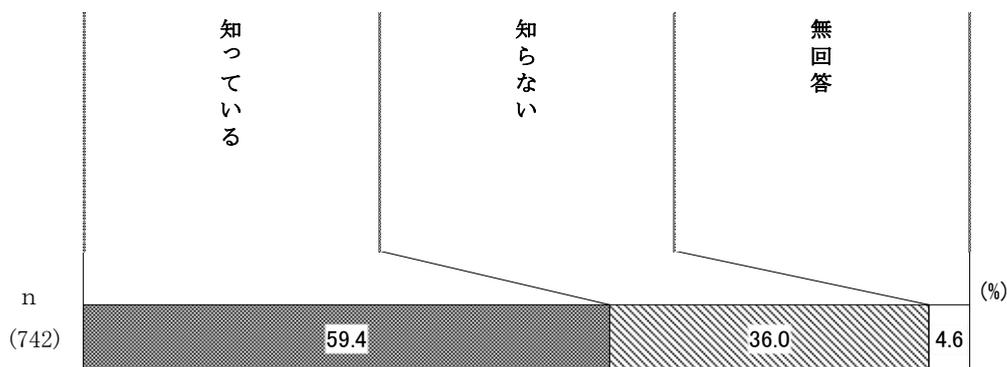
問41 あなたは、「高齢者総合相談センター」の名称をご存じですか。(1つに○)

問42 あなたは、「高齢者総合相談センター」が何をする機関かご存じですか。(1つに○)

問43 あなたは、あなたのお住まいの地域を担当する「高齢者総合相談センター」がどこにあるかご存じですか。(1つに○)

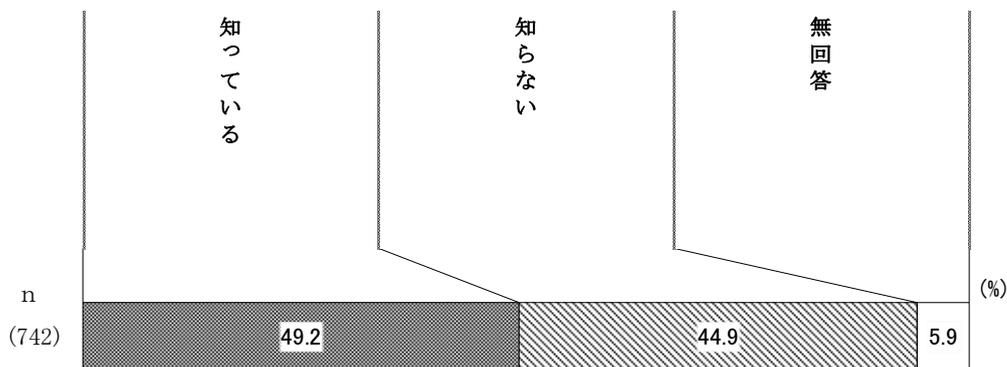
<図表193> 高齢者総合相談センターの名称・機能・所在地の認知度

○名称の認知度



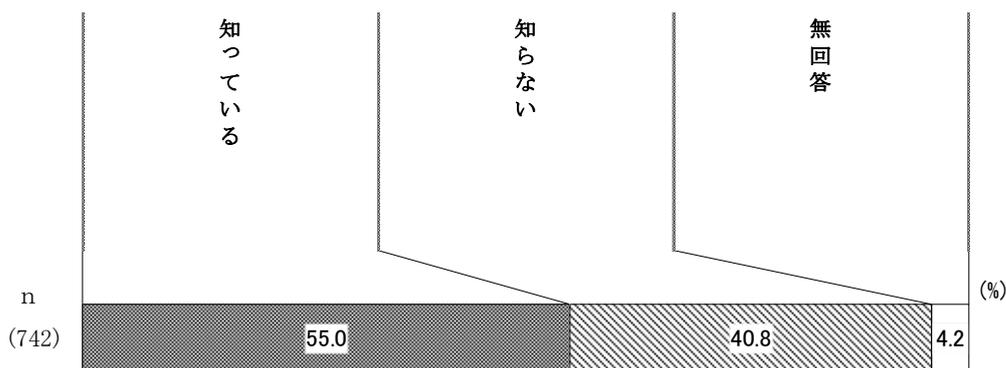
高齢者総合相談センターの名称の認知度をたずねたところ、「知っている」(59.4%)は6割弱となっている。

○機能の認知度



高齢者総合相談センターの機能の認知度をたずねたところ、「知っている」(49.2%)は5割弱となっている。

○所在地の認知度

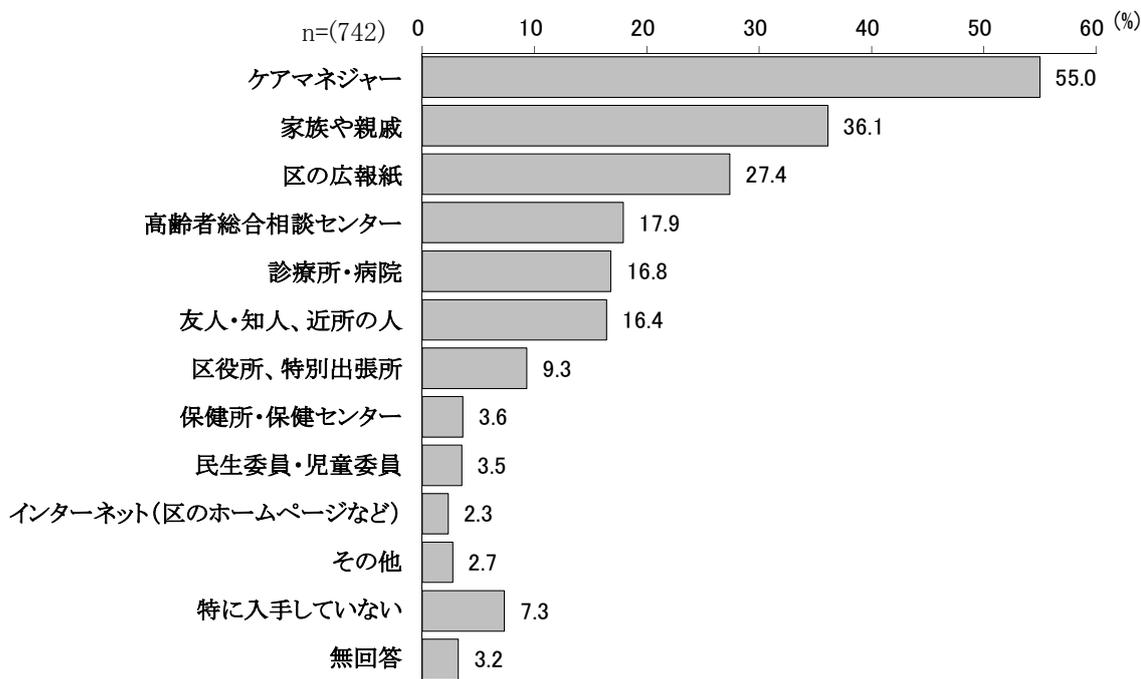


高齢者総合相談センターの所在地の認知度をたずねたところ、「知っている」(55.0%)は5割台半ばとなっている。

②健康や福祉サービスに関する情報の入手手段

問44 あなたは日ごろ、健康や福祉サービスに関する情報をどのような手段で入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

<図表194> 健康や福祉サービスに関する情報の入手手段 (複数回答)

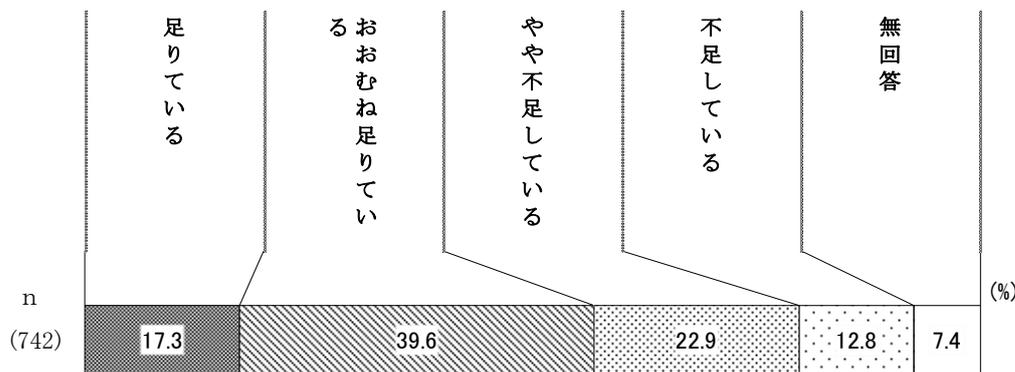


健康や福祉サービスに関する情報の入手手段についてたずねたところ、「ケアマネジャー」(55.0%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「家族や親戚」(36.1%)、「区の広報紙」(27.4%)の順となっている。

③健康や福祉サービスに関する情報量の充実度

問45 あなたの入手している健康や福祉サービスに関する情報量は足りていると思いますか。
(1つに○)

<図表195> 健康や福祉サービスに関する情報量の充実度



健康や福祉サービスに関する情報量の充実度についてたずねたところ、「おおむね足りている」(39.6%)が4割弱と最も高く、次いで、「やや不足している」(22.9%)、「足りている」(17.3%)の順となっている。

④高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見

問46 高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、117人からの回答があった。回答の多かった内容は、「介護保険・保険料について」「サービスについて」「高齢者向け施設について」の順であった。各事項（その他除く）について、回答の中からいくつかの意見を示す。

介護保険・保険料について	サービスについて	高齢者向け施設について	高齢者施策について	人材・ボランティアについて	情報提供・相談について	健康・介護予防について	家族等介護者のことについて	医療・保健について	災害時・緊急時のことについて	認知症について	アンケートについて	その他
27	26	21	18	15	11	7	7	5	5	4	1	6

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【介護保険・保険料について】

- ・国民年金の中から保険料を支払っているので介護保険が値上がりすると生活が厳しいです。
- ・介護保険サービスを受けているが、手続きや報告等が面倒、もう少し簡単にした方が良いのでは？経費削減にもなると思います。

【サービスについて】

- ・配食の弁当が、どんな環境で作っているか気になる（普段は自分で作っていて、人の作ったものをあまり食べたことが無い為）。買物のヘルパーさんに、一ヶ所だけでなく、スーパー、薬局等にも行ってほしい。一ヶ所しか行けないと断られている為。
- ・介護度によって支援される物が違う。本当に必要な物が使えない。どこで判断されるか分からない。

【高齢者向け施設について】

- ・介護施設によって介護の基本姿勢にバラツキがある。入所者に対して最低限気を使ってもらうことを徹底してもらいたい。
- ・福祉施設の充実をはかり、申請後、4～5年経っても入居出来ず、公的施設に入れずに私的施設に入居せざるを得なくなる事のないようにして欲しい。

【高齢者施策について】

- ・マンションの4階に住んでおり、階段の昇り降りが大変である。エレベーター取り付けに都や区でなにか援助または協力して下さる方法はないのか。
- ・行政が行っている（と思われる）保健、福祉に関する施策は区報（新聞）で知ることができるが、あまり身近に感じる事は無い。

【人材・ボランティアについて】

- ・全体的にケアマネジャーは良くやってくれると思うが、1人で担当する高齢者の数が多すぎると思う。
- ・介護を助けていただける方が、週に2～3回来て頂ければ助かる。

【情報提供・相談について】

- ・介護保険の内容を記したパンフレットがあればほしい。
- ・自治体から情報が流れるはずだが、近頃「個人情報」等により昔みたいに近所付き合いがなくなっていて、情報が少なすぎる現状である。行政のサービスで「送付」とか「電話」等のサービスを個人宛にお願いしたい。

【健康・介護予防について】

- ・高齢者の自立を目標としてのリハビリをもっと充実させ、要介護1の人を支援に、要支援の人を要介護にならないように努力すべきではないでしょうか。そのために仕組みの中での無駄をもっと見つけ、支出を減らし、未来への費用を考えていくともっと充実できるのではないのでしょうか。

【家族等介護者のことについて】

- ・介助者の負担も大きく、家庭内の争いも絶えない。公費負担割合を増やし、私達の負担を減らしてほしい。

【医療・保健について】

- ・かかりつけ医との信頼関係が薄く、病気と自分の健康に常に不安を感じている。

【災害時・緊急時のことについて】

- ・一人暮らしの高齢者の最大の不安は夜間にあると思う。倒れて意識不明の状態になることも考えられる。公営の高齢者住宅には緊急の場合（119）に通じるボタンが取り付けられていると聞くので、希望者には有料でも取り付け可能になると良い。

【認知症について】

- ・認知症の重篤の方が居り、夜中になると館内を徘徊して皆、困惑している。

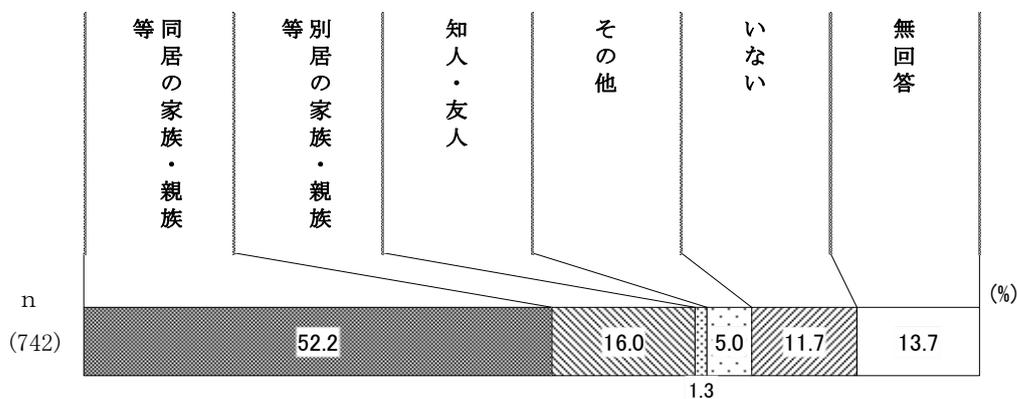
【アンケートについて】

- ・アンケート回答にとっても時間がかかった。

⑤主な介護者

問47 あなたを主に介護している方はどなたですか。(1つに○)

<図表196> 主な介護者



主介護者をたずねたところ、「同居の家族・親族等」(52.2%)が5割強で最も高く、次いで、「別居の家族・親族等」(16.0%)の順となっている。一方、「いない」(11.7%)は1割強となっている。

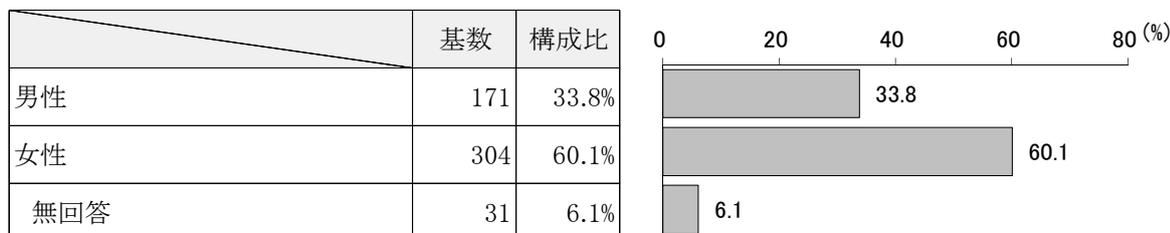
(12) 家族等介護者の状況について

《問48から問57までは、主な介護者の方（以下、「あなた」）におたずねします。》

① 主な介護者の性別

問48 あなたの性別をお選びください。（1つに○）

<図表197> 主な介護者の性別

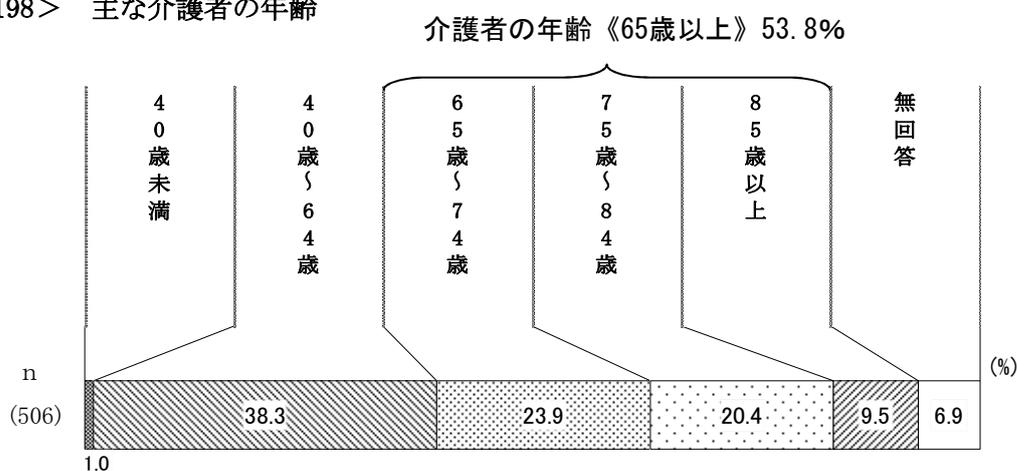


介護者の性別をたずねたところ、「男性」（33.8%）は3割台半ば近く、「女性」（60.1%）は約6割となっている。

② 主な介護者の年齢

問49 あなたの年齢をご記入ください。 ※平成28年11月1日現在の年齢でお答えください。

<図表198> 主な介護者の年齢

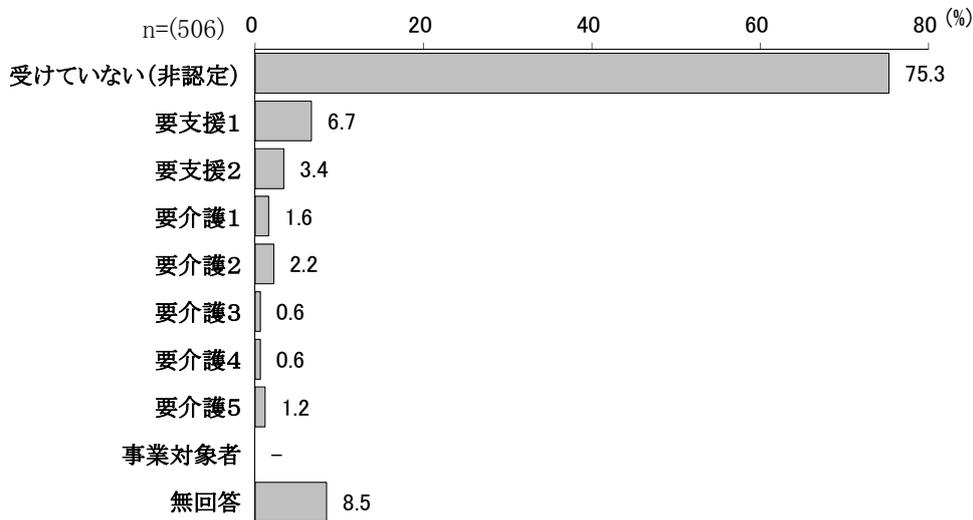


主な介護者の年齢をたずねたところ、「40歳～64歳」（38.3%）が4割近くで最も高くなっている。また、「65歳～74歳」（23.9%）、「75歳～84歳」（20.4%）、「85歳以上」（9.5%）を合わせた《65歳以上》は53.8%となっている。

③主な介護者の要介護認定

問50 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(1つに○)

<図表199> 主な介護者の要介護認定

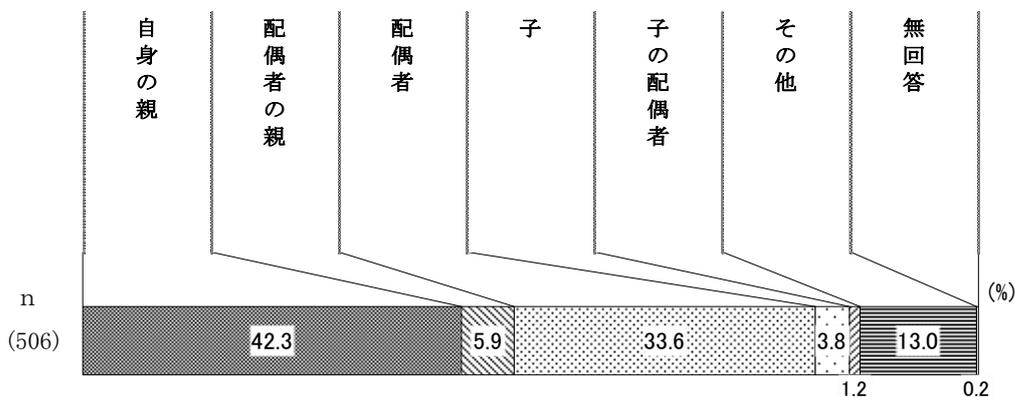


主介護者の要介護認定をたずねたところ、「受けていない」(75.3%)が7割台半ばで最も高くなっている。

④宛名のご本人との関係

問51 あなたからみて、宛名のご本人はどちらにあたりますか。(1つに○)

<図表200> 宛名のご本人との関係

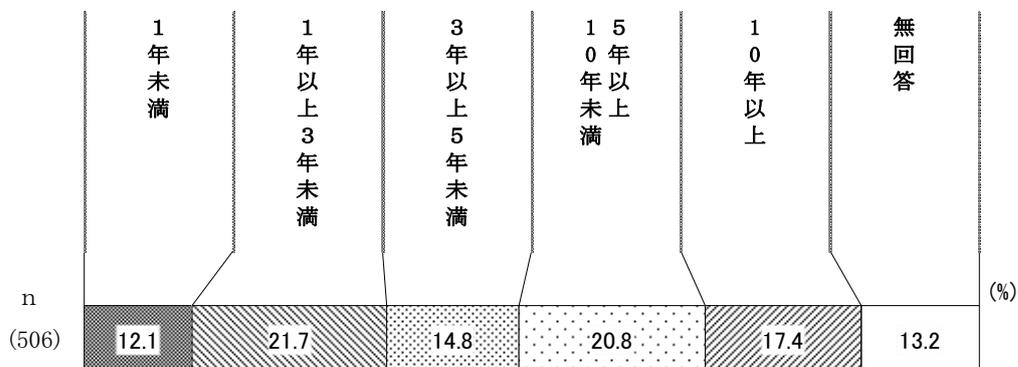


宛名のご本人との関係をたずねたところ、「自身の親」(42.3%)が4割強で最も高く、次いで、「配偶者」(33.6%)の順となっている。

⑤介護年数

問52 あなたは、宛名のご本人を何年介護していますか。(1つに○)

<図表201> 介護年数

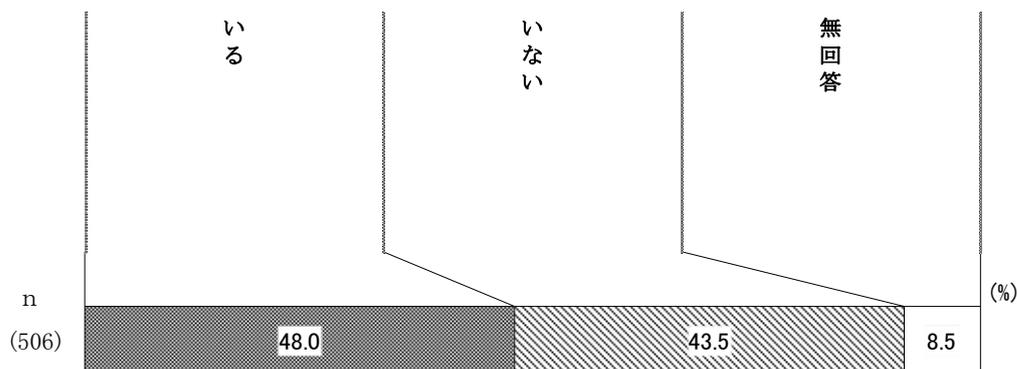


介護年数をたずねたところ、「1年以上3年未満」(21.7%)が2割強で最も高く、次いで、「5年以上10年未満」(20.8%)、「10年以上」(17.4%)の順となっている。

⑥副介護者の有無

問53 あなたを手助けするような、副介護者の方はいますか。(1つに○)

<図表202> 副介護者の有無

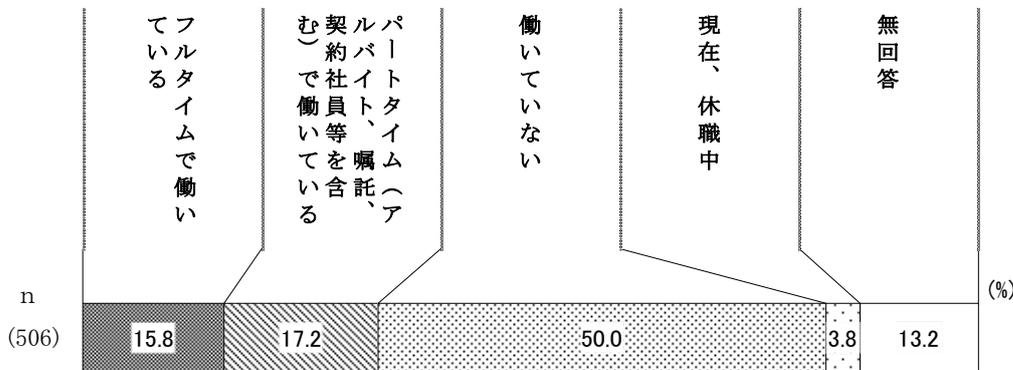


副介護者の有無をたずねたところ、「いる」(48.0%)は5割近く、「いない」(43.5%)は4割台半ば近くとなっている。

⑦現在の勤務形態

問54 あなたの現在の勤務形態は、次のどれですか。(1つに○)

<図表203> 現在の勤務形態

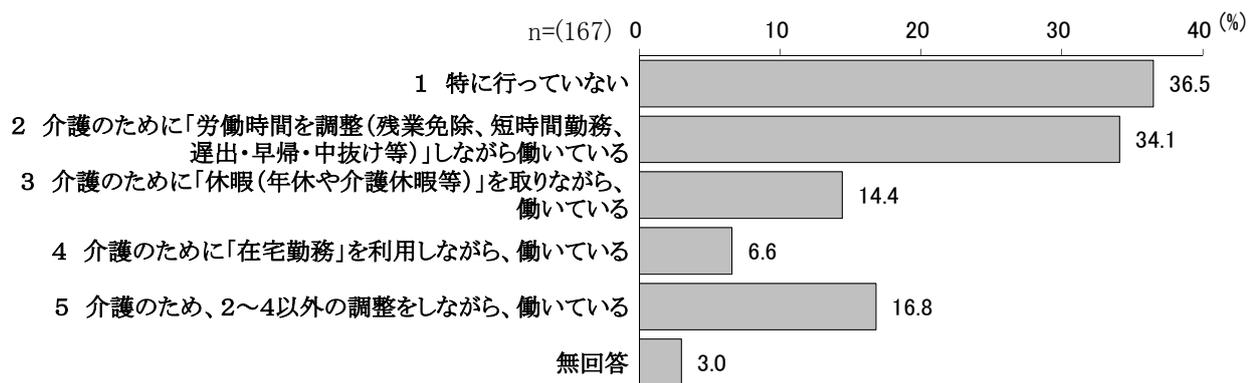


現在の勤務形態をたずねたところ、「働いていない」(50.0%)が5割で最も高く、次いで、「パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている」(17.2%)、「フルタイムで働いている」(15.8%)の順となっている。

⑧働き方の調整

問54-1 <<問54で「フルタイムで働いている」または「パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている」を選んだ方のみお答えください>>
 介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表204> 働き方の調整(複数回答)



問54で「フルタイムで働いている」または「パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている」と回答した人に、働き方の調整についてたずねたところ、「特に行っていない」(36.5%)が3割台半ばを超えている。働き方の調整等の内容としては、「介護のために「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている」(34.1%)が3割台半ば近くとなっている。

<図表205> 働き方の調整【ご自身の暮らし向き別（問8）】

(%)

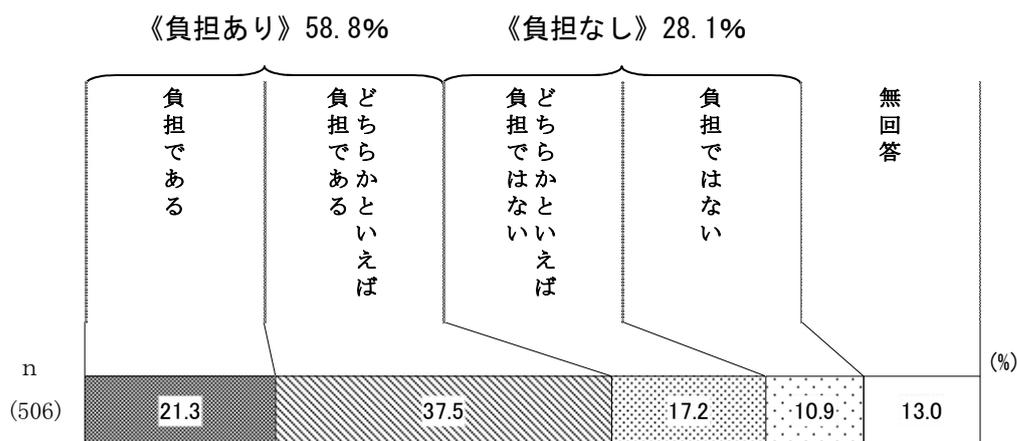
		調査数	特に行っていない	介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	介護のために「在宅勤務」を利用しながら働いている	介護のために、左記3つ以外の調整をしながら働いている	無回答
全体		167	36.5	34.1	14.4	6.6	16.8	3.0
暮らし向き	ゆとりがある	19	42.1	36.8	10.5	5.3	10.5	-
	ややゆとりがある	79	34.2	34.2	16.5	5.1	21.5	2.5
	やや苦しい	43	44.2	20.9	11.6	4.7	14.0	7.0
	苦しい	21	19.0	61.9	19.0	14.3	14.3	-

暮らし向き別でみると、苦しい場合「介護のために「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」（61.9%）が6割強と高くなっている。

⑨介護負担感

問55 あなたの介護負担感は、次のうちどれですか。（1つに○）

<図表206> 介護負担感

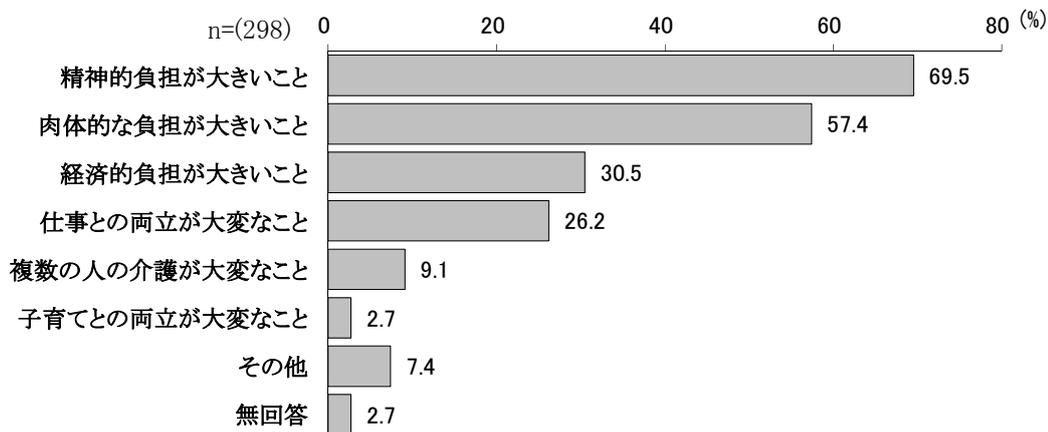


介護負担感をたずねたところ、「負担である」と「どちらかといえば負担である」をあわせた《負担あり》は58.8%となっている。

⑩介護が負担である理由

問55-1 <<問55で「負担である」または「どちらかといえば負担である」を選んだ方のみお答えください>>
それはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表207> 介護が負担である理由 (複数回答)

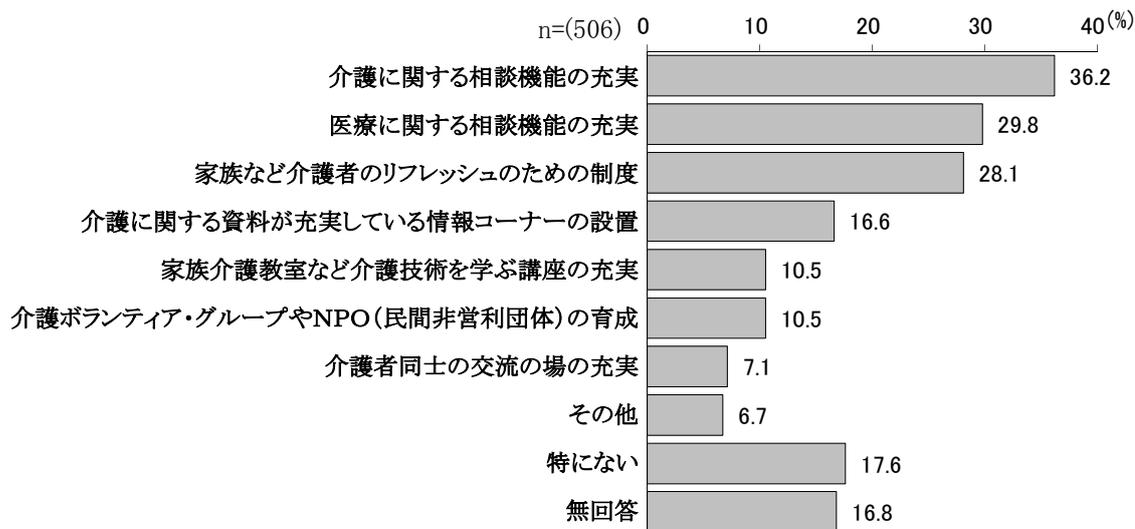


介護が負担である理由をたずねたところ、「精神的負担が大きいこと」(69.5%)が7割弱で最も高く、次いで、「肉体的な負担が大きいこと」(57.4%)、「経済的負担が大きいこと」(30.5%)の順となっている。

⑪介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと

問56 介護者(あなた)への支援として、新宿区に力を入れてほしいことは、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表208> 介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいこと (複数回答)



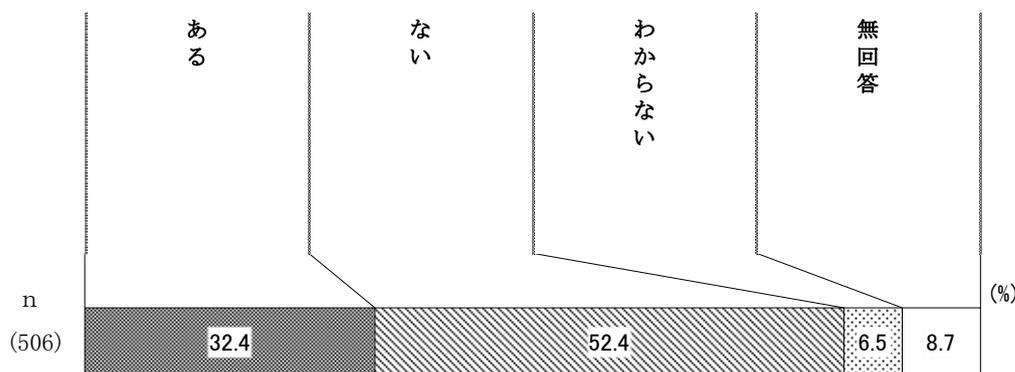
介護者への支援として、新宿区に力を入れてほしいことをたずねたところ、「介護に関する相談機能の充実」(36.2%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「医療に関する相談機能の充実」(29.8%)、「家族など介護者のリフレッシュのための制度」(28.1%)の順となっている。

(13) 認知症について

①認知症の症状の有無

問57 あなたが介護をしている方(宛名のご本人)には、認知症の症状がありますか。
(1つに○)

<図表209> 認知症の症状の有無

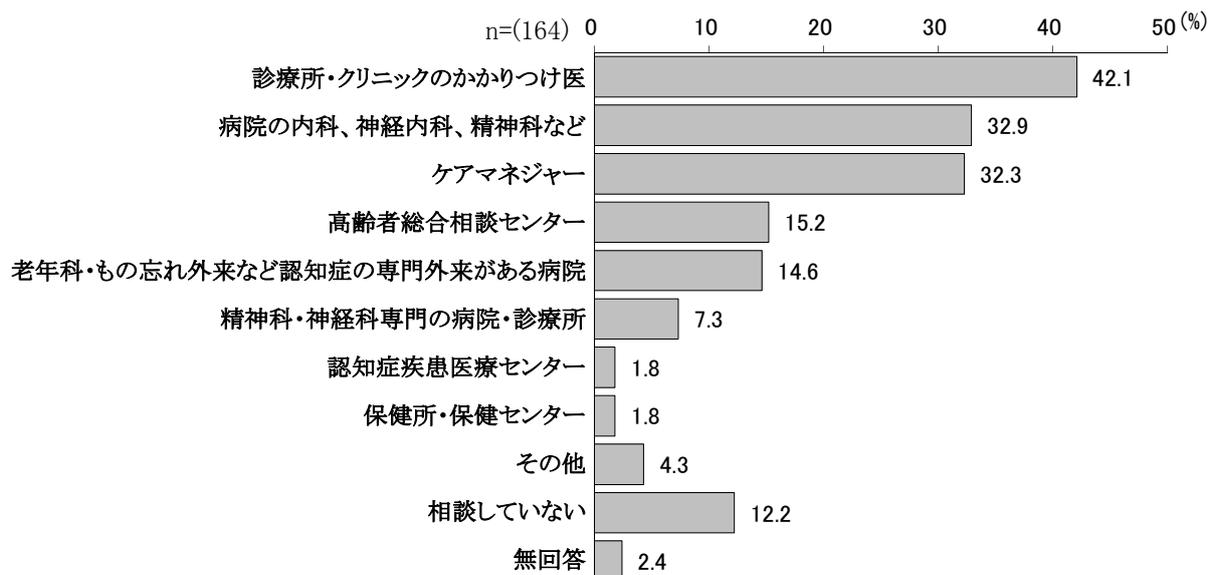


認知症の症状の有無をたずねたところ、「ある」(32.4%)は3割強となっている。

②認知症についての相談先

問57-1 <<問57で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
あなたは、介護している方が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安になったときにどちらに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

<図表210> 認知症についての相談先(複数回答)

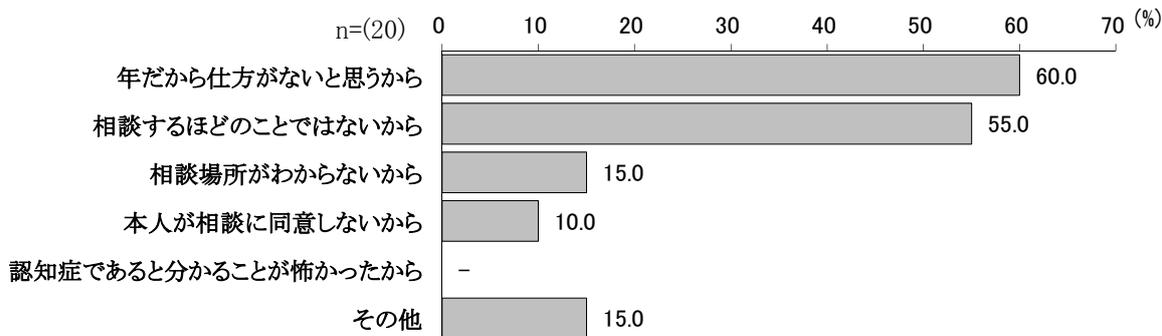


問57で認知症の症状が「ある」と回答した人に、認知症についての相談先をたずねたところ、「診療所・クリニックのかかりつけ医」(42.1%)が4割強と最も高く、次いで、「病院の内科、神経内科、精神科など」(32.9%)、「ケアマネジャー」(32.3%)の順となっている。

③認知症について相談していない理由

問57-1-1 <<問57-1で「相談していない」を選んだ方のみお答えください>>
 相談していない理由は、次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

<図表211> 認知症について相談していない理由 (複数回答)

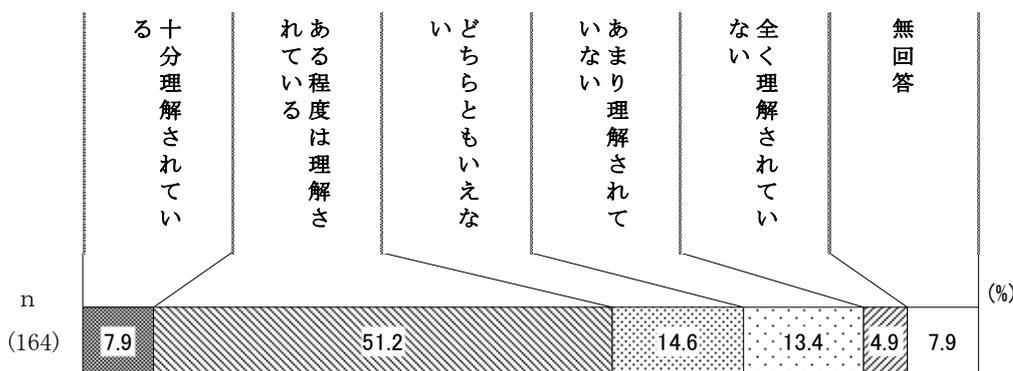


問57-1で認知症について「相談していない」と回答した人に、相談していない理由をたずねたところ、「年だから仕方がないと思うから」(60.0%)が6割で最も高く、次いで、「相談するほどのことではないから」(55.0%)の順となっている。

④身近な周囲の人々の認知症への理解

問57-2 <<問57で「ある」を選んだ方のみお答えください>>
 認知症のご家族を介護する日々の暮らしの中で、身近な周囲の人々(家族、親戚、ご近所等)の認知症への理解についてどのように思われますか。(1つに○)

<図表212> 身近な周囲の人々の認知症への理解

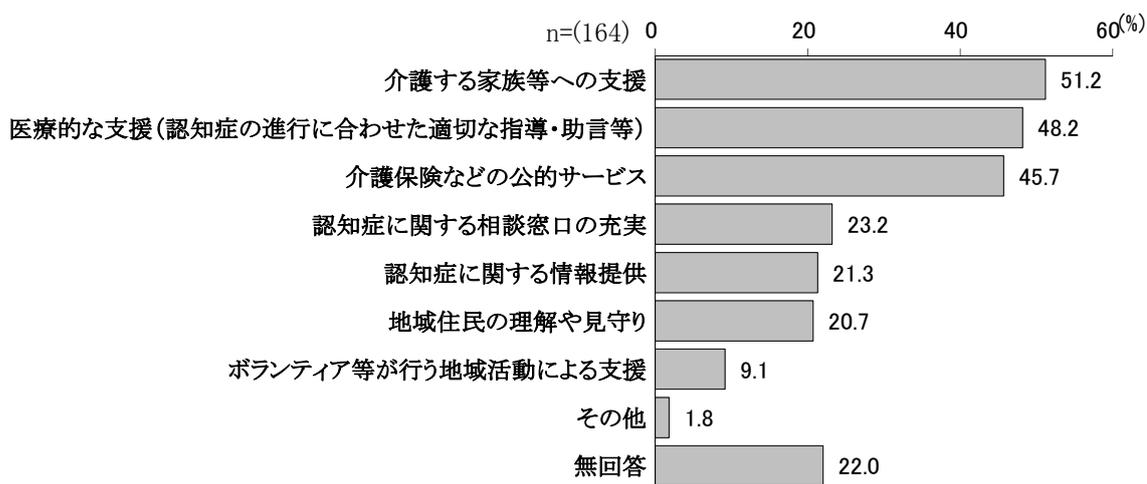


問57で認知症の症状が「ある」と回答した人に、身近な周囲の人々の認知症への理解についてたずねたところ、「ある程度は理解されている」(51.2%)が5割強で最も高く、次いで、「どちらともいえない」(14.6%)の順となっている。

⑤認知症の介護で必要と思うこと

問57-3 《問57で「ある」を選んだ方のみお答えください》
 認知症のご本人の介護において、必要と思うことは何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

<図表213> 認知症の介護で必要と思うこと (複数回答)



問57で認知症の症状が「ある」と回答した人に、認知症の介護で必要と思うものについてたずねたところ、「介護する家族等への支援」(51.2%)が5割強で最も高く、次いで、「医療的な支援(認知症の進行に合わせた適切な指導・助言等)」(48.2%)、「介護保険などの公的サービス」(45.7%)の順となっている。

⑥高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険についての要望・意見

問58 介護者の立場から、高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、区へのご要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の保健と福祉に関する施策や介護保険について、158人からの回答があった。回答の多かった内容は、「介護保険・保険料について」「サービスについて」「情報提供・相談について」の順であった。各事項（その他除く）について、回答の中からいくつかの意見を示す。

介護保険・保険料について	サービスについて	情報提供・相談について	家族等介護者のことについて	高齢者向け施設について	高齢者施策について	介護人材について	健康・介護予防について	認知症について	医療・保健について	住まいについて	災害時・緊急時のことについて	アンケートについて	その他
29	27	24	19	19	15	14	11	7	6	4	4	3	5

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

【介護保険・保険料について】

- ・これから高齢者が増えてくると保険料なども増えてくると思うが、出来る限り、皆が利用出来る料金でやってほしい。
- ・介護保険制度が出来てから、家族の負担はかなり軽減されたと思う。

【サービスについて】

- ・趣味、例えば、散歩、観劇などの付き添いを、負担にならない金額でやって頂けるサービスがあると、介護者も安心で、本人も生き生きと生活できると思う。
- ・介護者もなかなか家をあげられないので、区の巡回や訪問による相談サービスなどがあればと思う。

【情報提供・相談について】

- ・後期高齢者（一定以上の年齢の家族）と同居する親族に対する介護サービスの説明書等の事前配布等や窓口の告知等のさらなるアピールを今後もお願いしたい。
- ・介護する人間が、自分のように1人しかいない場合、介護認定の方法など、わからない事が多かった。高齢者のいる家には、事前に、説明する方がいたほうがよいと思う。

【家族等介護者のことについて】

- ・介護する家族への支援の充実を考えて欲しい。
- ・本人への支援はあるが、介護者への支援が少ないと思う。

【高齢者向け施設について】

- ・短期入所（ショートステイ）ができる施設、設備をもう少し増やしてほしい。
- ・ショートステイについて認知症対応の部屋が少ない。なかなか受け入れてくれない。

【高齢者施策について】

- ・要介護度が進んだ時に公的施設、施策がスムーズに利用出来る様にして欲しい。
- ・もっと気軽にサポートを依頼できるシステムが必要。近くに家族が住んでいると言って、まずは家族ですべきという考え方を変えてほしい。

【介護人材について】

- ・ケアマネジャーのお陰で介護サービスが必要なくなる位元気になった。
- ・すでに3年を経過して、色々な情報とかで自分なりに解決している。ケアマネジャーを通して、その度理解している。

【健康・介護予防について】

- ・今のところ軽度なので本人の努力に任せている。
- ・栄養士さんのお話、家でできる体力アップ等のお話。

【認知症について】

- ・認知症が更に進んで、深刻な状態（妄想、徘徊など）になったら、一人で介護するのは大変だと思う。

【医療・保健について】

- ・65才以上になったら、保健所などで診察や健康診断、レントゲンなどをやってほしい。

【住まいについて】

- ・親族と同居できる住宅があると助かる。

【災害時・緊急時のことについて】

- ・救急入院時の費用が高く、苦しい。

【アンケートについて】

- ・高齢なので、このような書類を読んで理解しながら回答するのが多く、苦痛である。時間がかかりすぎる。